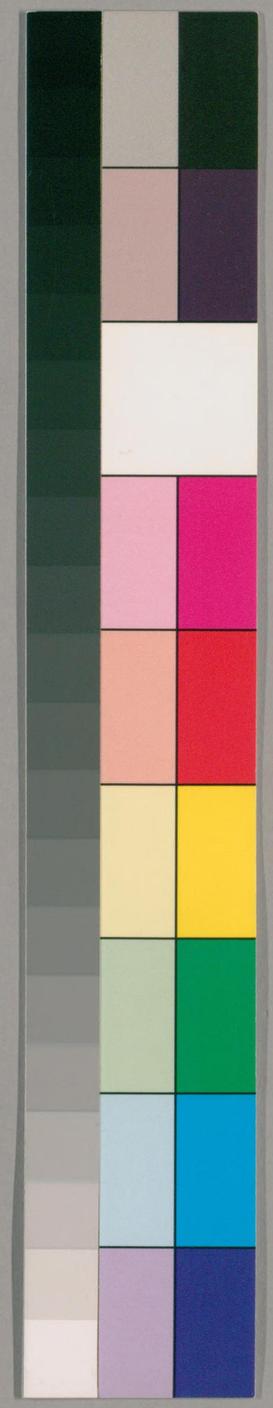
Honzō Kōmoku Kibun
vol. 23

W391
21

綱目啓蒙
巻廿四
二十五



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

蔴菜水菜芝栭

W391
21

書
2.3.-8
国会図

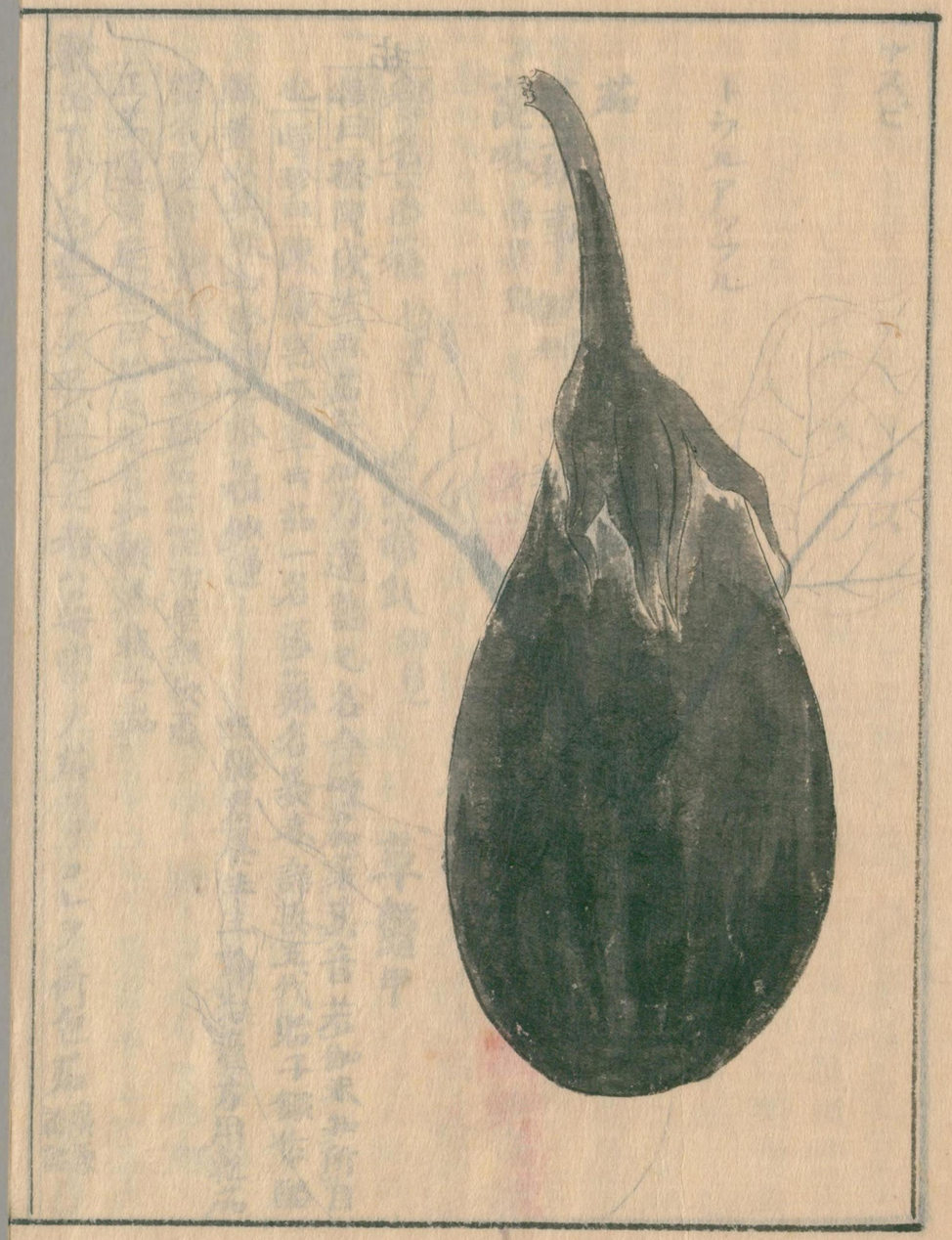
89W87985

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

蓏菜
茄 一
苦茄 二
壺盧 三
苦瓠 四
敗瓢 五
冬瓜 六
南瓜 七
越瓜 八
胡瓜 九
絲瓜 十
苦瓜 十一
水菜
紫菜 一
石蓴 二
石花菜 三
鹿角菜 四
龍鬚菜 五
睡菜 六
芝栭菜
芝 一
木耳 二
杉菌 三
皂莢蕈 四
香蕈 五
葛花菜 六
天花蕈 七
蘑菰蕈 八
雞㙡 九
舵菜 十
土菌 十一
鬼筆 十二
竹蓐 十三
雚菌 十四
蜀格 十五

地耳　十六　石耳　十七

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

ナスビ　ナス

トウルアツフル　ホクホキイ

茄

落蘇 事 酉陽雑爼　小菰 群芳譜　紫膨脝 白

崑味 青異録　矮瓜 廣東新語　若伽 事物異名

落蘇茄 雑字遅考　昆侖紫茄 正字通 事物異名 品字箋

釋名 落蘇 拾遺　崑崙瓜 御覧　草鼈甲

頌曰 按段成式云茄音加乃蓮莖之名今呼茄菜其音若伽未知所自也 時珍曰 陳藏器本草云茄一名落蘇名義未詳按五代貽子録作酪酥蓋以其味如酪酥也於義似通 ―― 王隠君養生主論治瘧方用乾茄諱名草鼈甲能治寒熱茄亦能治寒熱故爾

正字通 黄庭堅曰茄之老者如穀名穀子茄

數品アリ色紫ニシテ形圓ナル者ハ尋常ノ茄ナリコレヲ荷包茄 廣東新語

茄

土地ニ随ヒ皮ニ厚薄アリ薄キ者ヲ良トス臨桂雑識ニ経五寸者名合包
茄ト云形円ニシテ横ニ濶ヲ好トス　又横ニ濶シテ竪ニシテヒタアル者ヲキンチヤクナス
ビト云南部　薩州杢山ニハアフギナスビアリ形扁ク縦ニヒダアリテ本狭ク
末広ク一尺許アリ　又一蔕ニ七八実ナルモノアリ　又一茎ニ連珠シテ重リ生スル
モノアリ
一種白色ニシテ円ナルモノアリ即白茄一名銀茄ナリ
和名ニギンナスビト云ハ別ナリ
一種ナガナスビ即水茄ナリ筑前及東北国ニハ尺ニ通ルモアリ色白シテ長モアリ
又緑色ナルモノ　水ナスビト云　奥州ノ産之群芳譜ニ一種水茄形
稍長亦有紫青白三色ト云リ
又長キ物信州ニアリ　八丈嶋四季アリ如朱ニシテ茄小ナリ又日禰

○歯痛茄蔕霜塩サ又付ル　○歯クサ茄百ツケ霜　○乳破痛茄ヒ子タル
ヲヤキヌル　○乳癰及乳頭破タルニ秋後ノ茄子裂開スルモノ日乾焼末水ニテ
調敷　○乳汁不出茄根青皮大豆根下　○虫歯ニソツケ茄霜　○臁瘡茄
木霜ニ夂ケイフニニ夕コヌカノ油ニテ子リ付　○カツヲニ酔タルニ茄木煎服
大便結塩蔵茄入肛　○ウヲノ目ニ三年ニナル茄塩ツケオヒツブシ痛ニ付ヌル　○下血
茄ヘタ霜酒下　○灸瘡茄花陰干糊調攤紙貼之　○耳痛茄末入　○聤耳膿
久出不愈ニ茄ノ久漬タルヲ切ミホリサス　○香ザコ又重舌ニモ茄ノ蔕霜ヒニミヲ
子リ足ノイウラニハル　○ミモヤケ茄根葉茎煎洗　○完痔附茄三年ニナル茄ノ香
物霜末カウカイノ先ニ付穴ヘ入　○痔塩蔵茄三年者　霜昆布霜香油調敷　○
香ザコ茄花霜付ル　○ヒビ茄根濃煎洗　○瘰癧塩蔵茄霜　蚯蚓霜白梅肉
ハコベ汁調敷　○瘰癧茄蔕霜香油調敷　○小舌茄ノ花白ヤキクダニテ吹カケル
○ミマセ茄ニソツケノ三年茄ノ香物巴豆七粒入霜髪ノ油ニテ付　○耳痛茄
実末入　○乳ガ裂ー秋晩茄子裂開者曝乾霜水調ヌル　○歯痛茄蔕霜灰　○
児枕痛茄蔕霜　○痔疾　茄茎三十匁馬歯莧白タニハシ十匁水三升煎服ニ茄ヒ
○淋茄花十タニ許ツトキサミ煎服　○通大便塩蔵茄入肛　○歯痛茄ヘタ霜塩少
入付　○淋茄花自夜着霜　○咽喉熱ニ茄茎　○瘰癧茄蔕霜トリモチ合付ル

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

○湯火傷 茄茎霜黒コケ黒香油ニ調ヘ ○産後アト腹痛 茄茎ヲ陰干 水ニテ洗ヒ茎

煎服 ○㽲 茄茎ヲ霊 ○産後アトハレ 秋茄花陰干 酢ニテ付 又呑デモヨシ ○喉痺

茄花干末一寸四方ノ匙ハニウラニハル

苦茄　詳ナラス

○遵化州志ニ圓實為早茄　又有青水者紫水有泉者可生食ト云

○茄葉ヲ食フ蟲大サ○此位ニテ茶色ニシ圓キムヒホウヅキナドニモツク此名ヲカツパムシト云

○瘖ニ茄毒也瘖癪ニ全快ニ及テモ茄食ヘバ又瘖オコルモノ也

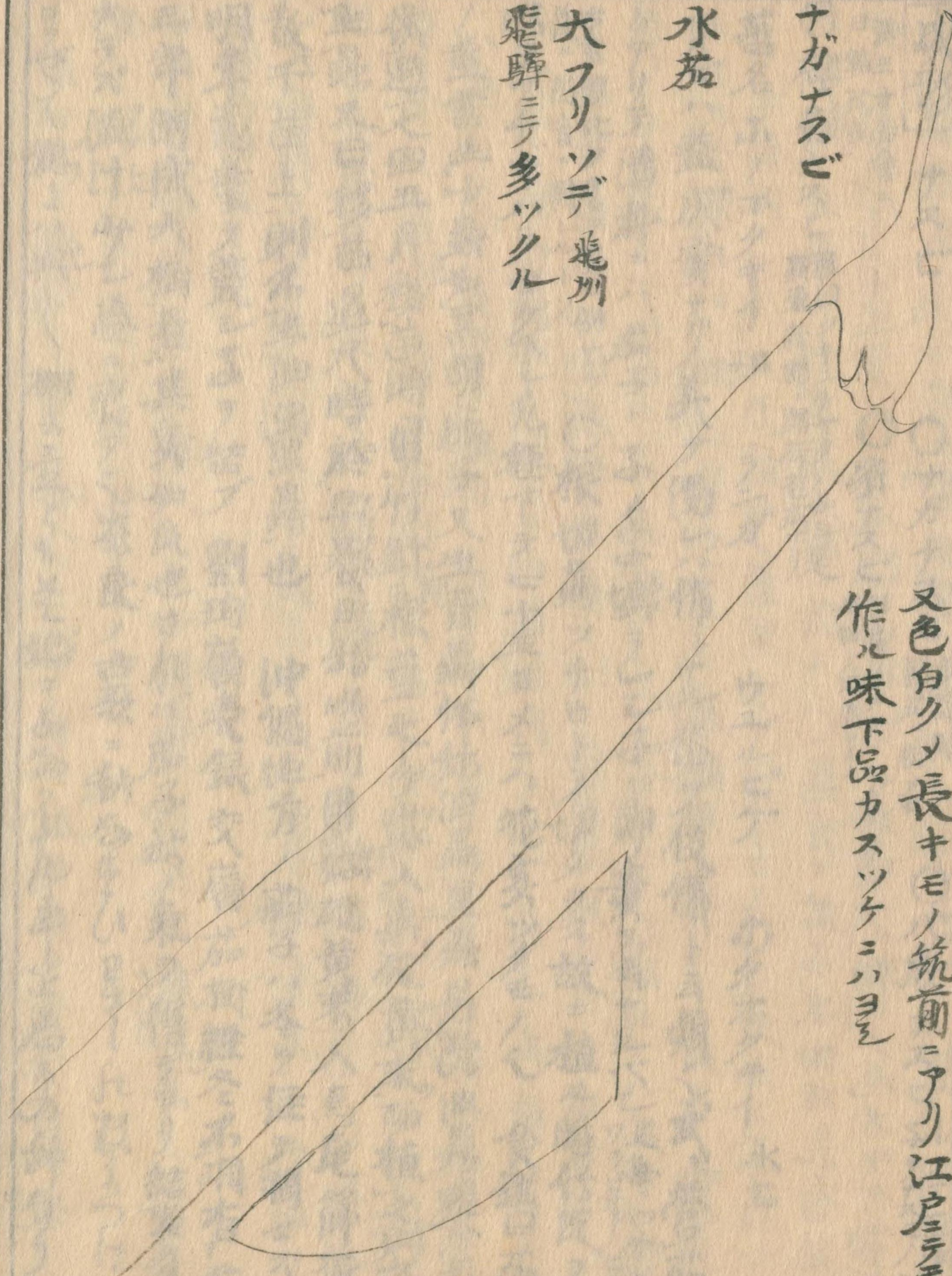
〇茄暴ニ枯ルヽヲ尾也ニテモウトイフモワヌ極ニスルニハ植付ル時スヽヲサツヽ入テ植ルナリ

ナガナスビ

水茄

大フリソデ 飛州

飛驒ニテ多ツクル



又色白クシテ長キモノ筑前ニアリ江戸ニテモ作ル味下品カスツケニハヨシ

成形　ナスビ　○ナガナスビ 多識編 圓茄ニ對ノ云　○八成ナスヒ トクテ一莖ニ數子ヲナスモノ和

漢三才圖會ニ日ニ錫杖茄ト　○扁ナスビ 形扁ノタテニヒダアリ 本細ノ末廣ナリ

○荷苞ナスビ 形四ノキンチヤクノ如ニ云是 廣東新語ニ謂荷苞茄ナリ

蕃名 ホノホクキイ 茄子　ラニガ　ウユルピグ　ホクホクキイ 水茄

ナスビハ益成實ナリ美ヲ濁レバ備トナル悉ヲ伎備トモ云類ハ式ニ營茄

トアリテ清粋ニハ茄子ト子ノ字填ラレシ子ハ卯實ヲ云ナルベシ又擬ニワサビワラビ下ノビモ

古書皆此ヲ書テ濁ル例ナシ後ニ濁音ニ轉レルトゾ　○根切蟲ツチモトヲ切タヲス故ニ植ル時竹皮ヲ

以テツチギハヲモクベシ凡種下テ七十五日メニハ花実ツクモノ也　食鑑曰茄

ノ莖葉生小蟲如黒胡麻子又生青蟲俗称油蟲黒蟲易除油蟲難除若

欲避之四五月移苗時用竹針刺根莖之分處入真硫黄末而植之則不

生蟲又曰移苗過尺時於早晨日出以前用好硫黄末入馬尾篩振

散于苗上則不生油虫黒蟲也　沖縄地方ノ茄子ハ冬ヲ経テ凋マズ

明年花葉ヲ發シ子ヲ結ブ　劉恂嶺表録 交嶺茄樹經冬不凋有ニ

三年斷成大樹者其実如瓜也されば茄子故ノ氣ヲ得テヨリ結実多

カラズ流汁サヒ冷ニ衰フル奈良ノ古歌ニ秋なすびわさゝの粕につけ

まぜて嫁ニハくれじ　棚ニ置ともそハ嫁ニ子なかる事を忌るの辞なり

○氣味甘ク性寒ニシテ毒ナシ女人ハ子宮ヲ傷ル秋後多ク食ヘバ目ヲ損フ
媳ニハ與ジの書益古ヘ脩ス所アリトイヘリ
○主治其家法ニ產後瘀血ニテ小腹痛ニ湯液ノ中乾茄蔕ヲ加味スレ
バ痛立所ニ止ト云
○又瘡痕高ク起テ變ザルハ茄蔕ノヲ火ニアブリ數〻其上ヲ熨ハは
驗アリ是我古俗ノ單法ゝ　○茄ノ樹ハ乾シテ楊枝ニ作ベシ
煎シ食ヘバ蕈毒ヲ解ス又其煎汁ヲノムモヨシ本朝経驗　○茄子水ニ
ニハ茄子ノ花一味細末麻油ニテ子リ口中ニヌリテヨシ　○小兒臍風撮口
茄子蔕ヲ黒焼細末ニシ乾タル時臍膿脂ヲトキ下ニ附上ニ右ノ薬ヲフリカク
ベシ鹿茸霜ヲヨシ　○眉脊脾痛ヲ治ニ蒼耳葉茄子葉蓖麻葉何レモ
痛所ニ七重或ハ十重ホドシキ其上ヨリヒノシヲスベシ　○底平ニハ茄子ノ香
物三年以上ノ物ニソ漬ニノ汁ヲ絞リ一滴入ベシ　○歯齦崖テ痛ムニハ茄子ノ香物黒
ヤキ末痛歯ニヌル　○又方茄子ノ茎黒ヤキツケテヨシ　○又方茄子蔕子ニ
灰藋焼各黒甘草サ細末歯ノ間ニ附ル　○蟲牙ニ茄子ノ木細末乳香傜
砂サ入末附　○又方茄子花黒ヤキ山椒大黒ヤキ焼塩サ糊ニテ丸メワクムベシ
○牙齦腫歯傍痛茄子香物三年ニナル黒ヤキ十匁ノ香附子生一匁五ト飯黒ヤキ十匁細末

附　○口瘡ニハ茄子蔕陰干露青黛等分末附　○シモユキタヾレ又アカ
ギリニハ根葉茎煎洗　○白禿茄陰干赤土硫黄茄子切口ニテスリテ附

○タマゴナスビ　　蕃名ベーデンギア

莖葉トモニ綠色
花白ク實黃ニ成
十處綠色ニメ中
ホドヨリ先淡綠
色

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

タマゴナスビ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ムニゴナスビ　ギンナスビ

金瓜茄 臺湾府志
金花茄 臺湾府志

黄茄 肇建府志 興老茄同名

食用ノモノニ非ス盆種ニテ賞ス賞玉スルモノナリ実ノ形ムマゴノ如ク初白色後黄色ニ変ス花ハ淡紫色苗高尺許

茄ノ雑解ニ黄茄附方ニ黄老茄子 老黄茄トヲモノハムマ子ナスビニメ常茄ノ黄熟スルモノ〳〵

臺湾府志云金瓜茄 茄薬幹同茄 花連五瓣似鴨脚淡紫色 結実圓鍾大似金瓜有外瓣初白後黄土人以供玩

又始ヨリ黄色ナルアリ河内ニテカリメイナスビトヲク

ユウガホ　ユウゴ　阿州勢州
ナリヒサゴ　スヽケバナ 百歌
メンカレグサ　ユトニグサ 共ノ名

壺盧
扈魯 同
壺蘆 同

要舟 埤雅
觚盧 同
葫瓜 同

釋名 瓠瓜 說文

蔵蘆 通雅
蟲蘆 品字箋
藤姑 群芳譜

其形又可為酒飯之器因以名之俗作葫蘆者非矣葫乃蒜名蘆乃葦屬也其圓者曰瓠亦曰瓢因其可以浮水如泡如漂也亦蔵屬皆得稱此故曰瓠瓜瓠瓜古人壺瓠瓠三名皆可通稱初無多別故蔡愼唐韻云瓠音壺又音護瓠瓤也陶隠居本草作瓠瓢云是瓠類也許慎說文云瓠瓠也又云瓠瓠也匏大腹瓠也莊子云有五石之

壺酒器也盧飯器也此物各象 ○俗作葫蘆

瓠諸書所言其字皆當與壺同音而後世以長如瓠
一頭有腹長柄者爲縣瓠無柄而圓大形扁者爲瓠瓠之有短柄大腹者爲壺壺之
細腰者爲蒲蘆各多名色迥異於古以今參詳其形狀雖名不同而苗架皮子性味則
一故並不復多條焉懸瓠今人所謂茶酒瓢者是也蒲蘆今之擧壺蘆是也郭義
恭廣志謂之約腹壺以其腹有約束也亦有大小二種也

群芳譜 薩農卿曰項短大腹曰瓠細而合上曰瓠似瓠而肥四者曰壺
凡ソフクベヒヤウタン類ハ皆白花ニメタニ開キ朝ニ萎ム故ニ總メユウガホト呼
ブ品類多シ別ノ說一ナラズ釋名ノ注ニ說ク所ヲ正トス

○瓠ハナガユウガホ一名ナガフクベ形長メ一尺許首尾同大サニメ越瓜ノ形
ノ如ク云一名淨街槌事物紺珠 甜瓠千金方 扁蒲 群芳譜 匾蒲大倉洲志
府志瓠ハ泉州方言ヤリ

ウスク片ニメ乾タルヲカニビヤウトテ勞州ヨリ出ルモノ佳ナリ加州ノモノハ劣レリ
漢名瓠畜劉熙釈名又甚長キモノ五六尺ニ過ク用ヲ花瓶トス肥後ヨリ出ス

○懸瓠ハヒサゴツルグビユウガホ ユヒヤウタン
其形圓ニメ大サ四五寸ニメ長サ尺餘ノ枝柄アリ竪ニ二ツニ剖ク時ハ自然ノ杓ト
ナル一名長柄瓠 汝南圃史 瓢ヌ本草綱目 東吳名物記言 長頸瓠蘆 校時通考

小柄壺蘆 古瓠附方 長柄茶壺蘆 瓠附方 頸瓠 泉州府志 柄ノ曲タルヲ鶯瓠 十充畜賢

○瓠ハフクベオホフクベスエトリフクベカニビヤウユウゴ雲州 其形大ニメ圓扁茶人崇ブ斗ニ製スルモノ多シ一名盒盤
瓠蘆 汝南圃史 盒盤瓠 蘇州府志 圓瓠 泉州府志

○其形小ニメ燈籠ノ合ノトナスベキ者ヲ肥後ビヤウタント呼ブ考槃餘事ニ小葫
蘆ト云名アリ

○壺ハクビアルフクベ番南瓜ノ形ノ如キヲ云一名扁蒲 汝南圃史
○蒲蘆ハヒヤウタンニ其形二重ニナリタル者今用ヲ酒ヲ入ル、器トスコレヲ
酒葫蘆 水滸傳ト云

○油ヲ入ルヽヲ油葫蘆 漁隱叢話

○又形小ナルモノアリ百ナリヒヤウタントヲ考槃餘事ニ二三寸葫蘆ト云ト云
瓠ノ附方ニ小罌壺蘆ト云又至テ小ナル者ヲ千ナリヒヤウタントヲ考槃
餘事ニ天生一寸小葫蘆ノ名アリ

蒲蘆一名亞腰壺蘆 附方 蒲 埤雅 浮日上 仙茶靈 名物方言事物紺珠

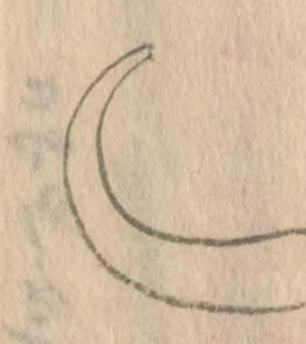
藥葫蘆 汝南圃史 葫蘆瓠 泉州府志

カニビヤウノ一名 竹葉相 葫蘆乾 感志

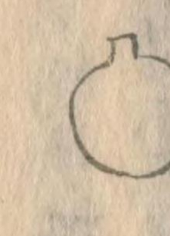
○ユウゴフクベ類皆湯ヲクヾラセルト白クナル肥後フクベモ甚白シ湯ヲクヾ
ラセタルモノナリ

○メイヅクフクベ

○カリガ子フクベ



○コセウツボ



○國茶須知 ヒサコ瓜　ヘウタン　フクベ　主治水腫ニ効アリ婦人乳汁ヲ
出スニ宜小児痢ニモ効アリ小便閉不通ノ者ニ用ユ
古フクベ　國茶須知　敗古ノ者宜来麄ニ用ユル敗物ヲ用ユ　主治淋疾
小便閉打撲傷損婦人乳汁ヲ出スニ奇ナリ諸家妙薬トシテ秘スル者ナリ

瓢畜　木曽福島上松須原辺ニテ製ス
○乳不出ニ用

セニナリヒヤウタン　三角ノ銀杏ヲ持ガ如シ
○コレヲ持テバアヤマチセズ
○葉ニ苦味ナク茎味微苦　處暑ノ頃ニ花ヲ開ク
○灸瘡セニナリヒヤウタン霜黄栢少許香油調敷　○難産セニナリーー霜
ヒヤウタン　竪ニヒダアルモノアリ　霜物ノ根ヲ早抜タワミル吸出スモノ也
○腹大ニハリメル病ニ多用テ治タル人アリ
○イキドレヘウタンヲチヅリノ酒ニテ呑又ハ水ニテ呑　○歯クサヘウタン霜昆布霜付ル
○ヒヤウタン霜ケイフン等分酢ニテトキ便毒ニ付ル　○帯下古ヘウタン霜
○口舌爛ヒヤウタン霜大人小児共　○小便閉ヘウタン霜湯ニテノム　○土血ヘウタン嫩葉ヲ

薩摩丁香末〇ノ胸蟲蝕ヒヤウタニ盛炙栢末　〇折撲ヒキウタニ盛昆布黒ヌル　〇折傷ヒヤウ
タニ盛スリ付ル　〇湯火傷灸瘡セニナリヒヤウタニ盛炙栢サノ柳香油調炙　〇
ハクサヒヤウタニ盛ヌル　〇癰口一夜開ヒヤウタニ盛コムギカラ黒ノリ調炙　〇雑

【成形】ヒサゴ　古事記〇延喜式祝詞武水神瓠〇和名鈔引唐韻杓斟水器也和名
ヒサゴ〇詩大雅酌之用匏〇内膳式瓠ニ柄外宮儀式帳ニ木瓠あり今の瓠ねくり水を瓠すてるかく
ともさびてゆらむ〇ヤクト云ハコノ瓠ヨリおこりて杓木杓ニ作ル字典補遺引竜龕云杓市若切木杓也此俗杓ノ行
ル前ニ古字ナリ〇ヒサコハ總名也綱目時珍云瓠瓜蔬ノ屬皆得稱瓜故曰瓠瓜古人
三名皆可通稱初無分別此和漢并ニシカルナリ　瓠匏ノ
天吉葛　書紀〇正ロ訣曰天ノ吉葛者匏也〇兼良纂疏曰吉葛者瓢也〇宣長古事記傳曰
毛髪ヲ美加豆良ナド云モ葛ノ葛ヨリ出タリサテ其葛ノ本ノ名ハツラニテトコロツラ
ツヾラニサキヅラ千歳藥ナド云今ツルト云モツラノ轉レルナリ弓ノ絃をモ
万葉ニツラトモヨメリトアリ以下ツラツルてふ者ヲ小種ト見ルヘシ
ナリヒサゴ　和名鈔　古事記傳曰ナリヒサゴトハ神ノ蔓ニ成タル杓ト云意ナリ外宮儀式帳瓠柄　ユウガホ　源氏物語花ノタ顔モテ開キ
源平盛衰記佐奈田與一義貞カ乘タル馬ハ白葦毛ノ太ククタクマキセオスニ余リテ鼻ノ先ニ
瓠ノ花ノ如ク白カリケレバ名ヲハタ顔トいふ東国一のつよ馬なり或曰瓠ハ形円クメ夜コレヲ
見レハ人ノ首ノ如シ　吉葛ノ豆良ヲ面ト通ヘリ拾遺集ニサヾメナクナルナル瓜ノ頭ヲ人ニテモ
ト前ルハ蔓ヲ頰ニ云カケタルヅ又蔵白ナドニモ一夕ビハヒサゴノ花ノアタマカナト作リモコノ意ニリキニ
ヤ　フクベ　多識篇〇今ノ按ニ瓢瓶ノ謂ナリ此モノ水ニ浮テ　離微案　蔬皇和哥集　大ヽ六ノ
水ニ沈ズ甚ヨシ後まるゝくゝ
ニ　篠目集夏の日のあつく照わる山房ヲ　ユフゴヒサゴ　ユフゴハ夕顔の　オホヘウタ
ハナすけの花やどる水牛ニつけり　スヒトリフクベ　ツドモリタルゾ
ニ多識篇瓠瓜を訓リ　炭斗瓢　四大ナルモノ炭斗ニツクルヘシ　ツボル　沖縄　壷蘆
亦ハチフクベトいふ
瓠ノ葉ノ壺蘆　日華〇正字通云俗作𤬛𤮕壺酒器盧飯器瓠名象其形時珍云
名ナリ　又可為酒飲之器俗作葫蘆者非也〇又胡盧ニ作ル俗語ノ胡々盧々
ハくゞくわけるーごとく蓋壺盧ハ瓠瓠蒲蘆等ノ　瓠瓜　論語〇綱目瓠無柄而円大ニ
大名也時珍云名狀不一其實一類各色ヘ　形扁者也〇陸佃云瓠手頭
大腹曰瓠〇爾雅翼瓠在八音之一史記　瓢　綱目時珍云壺盧瓜者曰瓠亦曰瓢因其可浮水如泡
謂瓠瓜ハ星名也瓠亦作瓟　如泡如漂也今按此説下ニ得テ有味瓠瓢ハ此宙ニして
も專ぶ縁故アル〻前ニ記ガ如ニ又腰舟トモ飲器ともナス天生泡漂ノ状ヲ具ス天體ノ円ニシテ上ニ浮揚て墜ズ地
上の水氣吹挙てあらるゝの如キ歟又按ニ本草和名引藴敬注小者ト瓠ハ大ニして扁く瓢ハ小ニ
して円ニ又古今注ニ瓢亦瓠也瓠其總瓢其別也コノ瓠ハ即壺盧ニメ其實別ヲ瓢トセルニヤ正字通瓠瓠
剖開可為酒尊瓢ハ其瓠ヲ去テ器ニナセル總名ナルニ似リ又以瓢測海トモ或ハ花瓢瓊瓢ナド見ヘヨ皆瓠瓠

○蒲蘆

中ノ小ナルモノニシテ其酒尊飲器トナス二八壺蘆ト蒲蘆トヲ分別シテ云ニ 瓠盧 扈魯 觚盧
非ズ凡一種同類ニ數名ヲ命テ簡便ナラサルハ西人ノ癖ソカシ
以上通雅並壺盧ノ轉語ナリ 登盤葫蘆 汝南圃史 合盤葫蘆 致富全書 瓠姑 群芳譜 赤陽藏温
本草和名引養性要集 要舟 雅俗 葫瓜 崔字箋
長ヒサゴ ナガフクベ ナガユウガホ ユヘウタン 多識編
瓠瓜
柄匏 ヱヒサゴ 赤柄瓢箪トモ云 蔓頭瓢箪 ツルクビヘウタン 多識編○蔓ハ即懸也物を懸ルガ通留須トイフガ如シ 杓夕顔 ヒシヤクユウガホ 古ニ杓トセシハ即
瓟ノナルベシ 從杓トノミトナヘ 杓子夕顔 俗ニ馬杓ナド云
モ故ニ別テ杓夕顔トセリ
懸瓠
ニガヒサゴ 本草和名○輔仁博士ノ本草ニヨヒテ之ヲ見ル 按ニ蒲蘆ノ古名可據モノ 闇夜瓢 ヤミノヨフクベ 和漢三才圖會 細腰ノ本末相均者之 小腹瓢 コバラフクベ ヲビ
フクベ 多識編○書小瓢瓢 百成瓢箪 同上是三寸胡盧ヲ謂之其実累々成リ著きをもて名トス セニナリヘウタン 是天生一寸小胡盧ヲ謂ナリ
瓢箪 和字通例俗ニ字ノ音ヲ小瓢ノ名トスルハ甚タ義ナシ字典ニ云瓢亦曰箪揚氏方言或謂之箪或謂之瓢或謂之瓢三畧昔者良将之用兵有饋箪醪者使投諸河與士卒同流而飲夫一箪之醪不能味一河之水而三軍之士思爲致死者以滋味之及己也コノ箪ハ即瓢ナリ又我日新齋母歌ニわしも水ちかれとさけとうるぞし呂あさけあれ君がよとの三畧の意ナルベシ
腰著瓢箪 苦瓠 苦匏 國語 瓠瓢 本草和名○正字通與瓠類相似而形実別ナリ 苦壺盧
本草ニハ壺盧ト蒲蘆トヲ一類トシテ苦瓠を以テ又別條ニ出ス これども
本草和名ニ據テ茲ニニガヒサゴナド云モノ苦瓠ニシテ即蒲蘆ナリ 亞腰葫蘆 仙芋囊
以上名物 天生一寸小葫蘆 蒲蘆而最小者之名 三寸葫蘆 以考槃餘事 蒲蘆ヨリモ小ク一寸ハ葫蘆ヨリハ大ナルモノヲ云又小葉葫
蘆ナドモ見タリ
番名 カウワーレデン

此等ノ數種時ニ遲早ノ小異アレ氏ソノ皮子性味等ハ皆同ト云並ニ二月中
ニ種ヲ下シ先嫩苗を出し葉の間より茎を芽ニ漸ク蔓を引て樹ニ纒ヒ
架ニ攀上る 二言集ニ 山ろ川のさとる竹垣杖ゆちせまゆ中ゆ影られゆすゆひ
すりひよ五六月ゆ至り甚帯白瓣の花咲芙葉あり枕草子ニ夕ガ日ハ
ゆ顔ニ似をいいひつけたるもあり しかりぬべき花の枝すをゆくさそのほり
きゐまて究日をしあれあどて尓将生出ちんぬろつきあど云をのやうな
むとになれりし されど枕草子ニハ御絆ニかし方ゆく事の甚角髪よさそとく
いひけゐる匏の蔓ハ葉ゆ葉ゆもよに表ふれハ甚さつゆ実ひとはつげ
たりともあり 葉ゆ裏毛あれど嫩時ハ煮て食ふべし 古苦くて可しき種を
ありて凡ソ実ハ淺黄にて後ハ黄褐色ニ変る 枇杷ノ和名小フクベナルモノ比ヒヲ訛色形ノフクベニ似タレバ
バ瓢あり色白ヲ市之ヲ様附と云瓢中の子齊整て歯列して毛詩ニ歯ハ如
瓠犀是なり 傳ニ犀ハ瓣也又云棲ハ瓠中瓣字典ニ棲與犀音同 ○崇峻紀ニ厩戸皇子束髪於額とあり
て古ノ俗年廿ノ兒年十五六間束髪於額十七八ノ間分爲角子今亦然りと見ゆ
枕草子ゆもいゆがひさこ髪のみじかくて肩さかにかどあるをいへり 通證曰
束髪於額ハ訓瓠花ニ以其形也 蓋髪ヲ束テ其頂の散開きしが瓠花の簪
ゆ擬ナルニ似シルトイフ事歟 本文いへバ今沖縄童子が頭ゆ髪を束縮し

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

なども、いまし一つの形なりこそ 傳信録ニ琉球婦女簪用玳瑁倒插髻中翹額上髻甚鬆是之
童子も婦女と同じ 又角子ハ日本武尊貴庚十六歳ノ御時之未及總角とも章
記ニハ其御髪結於額 とも見えて 角子ハ古事記曰御ヲツラニ 万葉ニ角髪
とあり左右ニアルガ角ノ如クナル故ニ加かる称ハ起なり後世ニ鬢頬ト云ハ
此ミヅラヲ訛レル言ナリ今りの韓子ニ縮髪ノ本ヲ取ソロヘ末ヲ二ツニシ額ノ上ホドニ
前ノ輪ニ結ヲ云 サテ沖縄ノ男夫の束髪を偏頭ト云ことは吾国人むかしハ
傻髻ナリシヲ沖縄ハ特ニ舘ニセシユヘ偏トイフトゾ南島ニ教古俗ノ悉く傚りし
よし八刑ニ委く記し されバ玆ニ記るし 門

○壺の甘キモノト名ヘナルハ味甘して食べし 又日ニサラシ乾セルヲ干瓢
と云 瓠蓄 是ヲ晡トシ蓄テ冬月ニ至リ食用トスヨリ蓄ノ字ヲ下セリ 此干瓢ハ大ニシテ扁キを家用へし又土用中
ニ採捺ニ切片ナツ皮ト瓤トヲ去リ白肉ヲ薄ク剥連て架ニ掛晒シ乾ス大和辺より
出ル一日ニ乾上ル津ノ国本庄維波、信濃ノ福島ホドリ多出
蒲蘆ハ味苦食ニ堪ヘズ ○凡壺盧 苦壺盧ハ水ニ入て沈マズ能浮ヲモテ昔ヨリ
川済等ニ腰ニ瓢ヲ附ル事アリ是ヲ浮嚢ト云漢ニテ要舟と見ゆ行軍ニ用
べシ其時ハ三つ又ハ蛇ヲ籠ミて小腹瓢ヲ並ラモ入逆我胴ニ合せなど結附
べし高ク附ヲヨシトス大ナル鉢瓢ヲ麻ノ羅ニ入テ腰ヨリ上ニ着モよし浮水

流ニ入リ験てヨキホドニ作ルべし
○器ニセルハ懸瓠を料トシ壺盧ヲ瓶トシ扁ク扁キハ瓢ニ作リ房子トし 又薬
疏の稜油瓶等ヲ收蓄フ 小胡盧ハ腰子煙盒ヲ作 瓠子匏小窓別記ニ載タリ凡
ワリタルヲ左右ニ分テ新婚ノ夫婦ヘ備ヘをアタヘ酒ヲ酌ヲ合巹ト云 西土ニテ昏礼ノ時小瓢ヲ二ツニ
アハセラクニ此モノヲ以ツカラ物酌ムベク成レルモノナレバイモセノ道ノ天然ナルニ就ヒ用ルトゾ 否 邦
ニテ貝ヲ合ケルコトハアレド異ナリソノヨシハ恰ノ所ニ云ヘリ 又酒葫蘆水壺傳等ニ見ユ又漁鷹
叢話ニ油葫蘆アリ凡瓢モテイレモノヲツクルニハ中ヨリワリテ上下ヲ取テツギ合ス肥後ニテツクルモノ
ハダツヤアリテミゴトナルコ世ニ類稀ナリ
庭訓往来茶瓢ヲ載タリ
○凡匏の名大ナルハ一茎ニ一ツ二ツ実ヲ留ル
ホカニツボミヲトリ培養ヲ施セバ実大ニシテ水四五升モ入ホドノ匏出来ルコトヨシ
○瓠蓄甘性平滑毒ナシ病人ニ害ナシ ○主治熱ヲ消シ水ヲ利ス ○苦瓠
苦性寒毒アリ ○主治代指ヲ患ルニ黒焼末粘糊ニ煉合指ヲ巻 本朝経験 ○腫
瘍ヌキニハユウガホノ黒焼米の酢ニ浸シ巴豆サカ押合口ニ附ル瘤ヲヌク
トキハサ灸ヲシテ其の上ニ附べし ○赤撲瓠黒焼ニテ酒ニテ用 ○ミヽダリ
ニユウガホノ実黒ヤキ麻油ニテトキ耳中ニ入 ○ニムシ咬壺蘆ノ蔓ノ
附下疳コブ幌頭猪油ニテ附 ○又方壺蘆蔓摘ヘ切口めを擦て猪舌
ヲコソゲテ附 ○又方壺蘆ノ葉ヲスリ附テモヨシ ○又花ヲ附てもよし
○ムカデサシタルニユウガホノ葉ノ搗汁ヲ附 ○小児黄爛ニフクベノ蕊
麻油ニテ附 ○竹木刺ヘウタン百合甘草カツラブニ蓖油麻ノ肉ニ押交附

○日ノ上ニ腫物愈カヌルニユウガホノ𦾔ヲ酢ニ浸シ黒ヤキニシ腫物ノ上ニ灸ミテ之ヲ附ル上和方

壺盧　○蛇螫ユウガホノ葉搗敷揩之　○毒虫螫壺盧葉汁付○乳汁不出ユウガホノツル葉花共陰干黒粉米粥送下　○又方カニベソ　○淋壺盧葉黒焼水下　○髪中生瘡ユウガホフクベノツル濃煎洗之○打撲壺盧黒焼ミカハ黒等分塩酒下　○腹蛇咬ユウガホカニヘウヲ付○又方ユウガホノツル去皮胡椒末髪油調塗　○癪風壺盧蔓接搗揩一揉煎洗杉葉ニテフスベセウノウヲヌリ付ノツルノ黒ヨキ酒ニテ二度斗用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

フゞベ
フゞベハフクラグ
ヒヤウトヨコ一說
ニフクハ袋ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

○乳汁不出瓠陰子煎服 ○乳汁不出フクベ霜土瓜蔓霜麦下
○魚ノ毒ケシフクベノ子末三ト湯下 ○古キフクベヤキ黄連等分スキハラ
ニ温酒下ス下血 ○歯クサレ一ー霜引茶等分ノム○青礬フクベ杜板陶酒下
○血脚気内薬フクベノ霜酒ニテ用テ湯水ヲ可吐

センナクヒヤウタン

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

センナリヒヤウタン
天生一寸小葫蘆 考盤餘事

○湯火傷 センナリヒヤウタン 黄柏 甘粉 香油 研交

苦瓠
ニガヒサゴ
一名 苦瓜 老圃方
甘瓠 培養宜シカラサルハ 秋壺盧 同上
葫蘆ト云ヒ一説ナリヒヤウタンハ味苦キ故ナリ
稱名 苦瓠 国語
苦壺盧

盛京通志ニ云苦一即苦壺蘆枝本草甘者大苦者小此地苦瓠亦有大者蓋別一種也ト云

苦瓢 卿茅本草
一名 苦瓜 本草
甘瓠 培養宜シカラサルハ 又本經逢原ニハ即細頸
葫蘆ト云ヒ一説ナリヒヤウタンハ味苦キ故ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

トウグワ

敗瓢 是ハヒヤウタンノ年久キ者ヲ用ユルヲ言ニ改ニ彙言ニモ敗舊ノ名アリ

フルキヒサゴ

フクベヒヤウタン

一名敗舊瓢 本草彙言 破瓢附方

舊壺盧瓢 月上

陳壺盧瓢 月上

トウグワ
カモウリ

冬瓜

蘢蓏 群芳譜
釋名 白瓜 本經
水芝 同上
地芝 廣雅

志曰冬瓜經霜後皮上白如粉塗其子亦白故名白冬瓜而子云白瓜子也 時珍曰冬瓜以其冬熟也又賈思勰云冬瓜正二三月種之若十月種者結瓜肥好乃勝春種則冬瓜之名或又以此也

東瓜 三才圖會
菰 通雅
トウガニ 防州
トニガ 伊州

輔仁 白冬瓜
秋泉 曰 冬瓜人藥名
桂枝 曰
温食 曰

外皮ニ白毛アリ故ニカモウリト云カモハ氈ノコトナリ大和本草ニ云リ京師産ハ皆形円ニシテ西瓜ノ如シ他州ノ者ハ多クハ形長シ伊州ニハ長サ三尺餘ナルアリ方言江戸トウガニト云群芳譜ニ長者如枕円者如斗ト云又閩国史ニ有大三尺圓長四五尺者ト云凡ソ冬瓜ハ遅ク熟シ霜ヲ経ル者ヲ良トス故冬瓜ト名ク然ルニ今ハ早ク種早ク採ルヲ尚ブ故ニ六七月ニ多ク出ス名実ニカナハズ發明ニモ九月勿食令人反胃須被霜食之乃佳ト云ヘリ

國業須知 一 シモ瓜

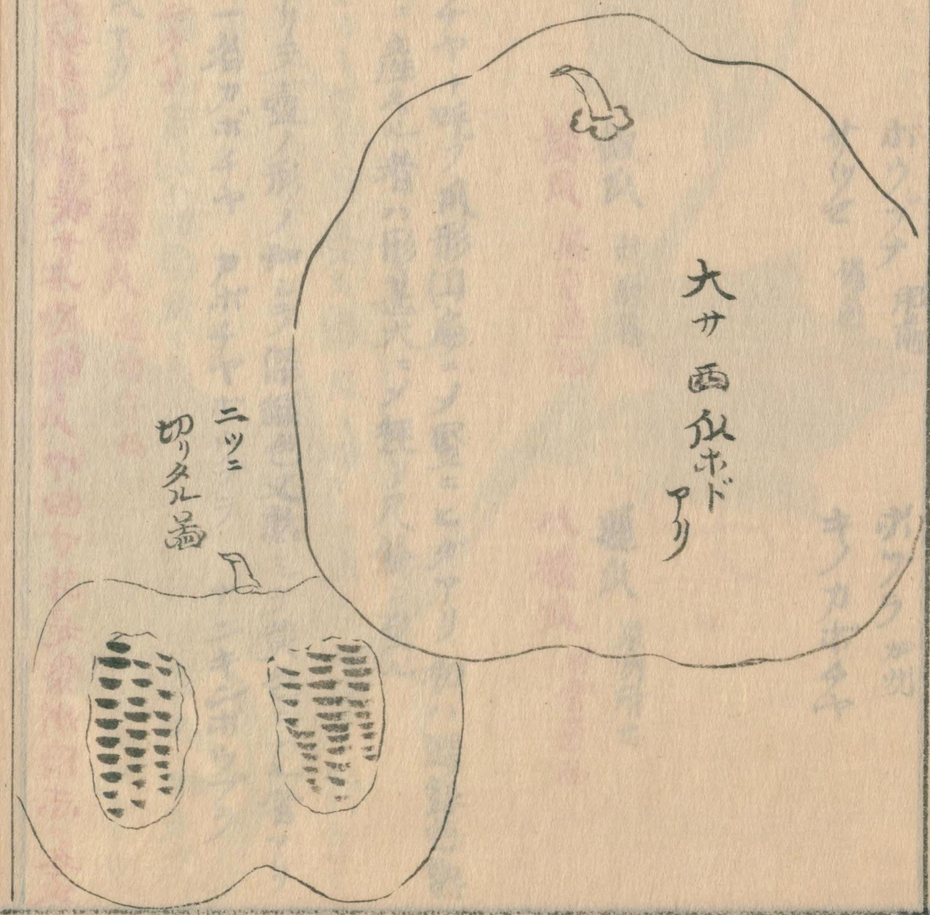
主治 水腫ニ効アリ小便不利ノ者ニ瘡毒内攻脚氣支滿風水婦人血積脚腫ニ宜 ○脚氣腫滿冬瓜蔓木通葛更荊芥煎服 ○菌毒カモ瓜汁服 ○雀斑ソバカスカモウリ核桃花等分蜜調塗 ○下血カモウリ鹽漬 ○セキ冬瓜皮 ○灸瘡冬瓜苑陰干為く ○水腫冬瓜瓤肉ニ白朮ヲ一ハイ入熬湯拔 ○痘ヲ冬瓜ノ実ヲホミホミツギニ包タヽクアトツカズ

成形　カモウリ　トウクハ卽冬瓜ノ音轉也　ミブリ沖縄

蕃名　エイデニトレイキ　メルトン

カモハ書紀ニ羚羊トモアリテ順鈔ニ氊ヲカモト訓字鏡ニ毹毲ヲモヨミケリ冬ニ至レバ白毛アリテ氊ニ似ル故名東雅ニハカモハ𤯝シ皮上白カビノ如ナルヲイヒミナリ　籠紫ニハ四尺圍ノ物多ミ以南國史ニ冬瓜大サ三尺圍長四五尺ト云ヘリ○埤雅云瓜性惡香忌聞麝麝氣觸之乃至一蔕不収　南島ニテハ砂糖ヲツクルトキ此モノヲ入テ煎ミツ茶果ニ供フ甚甘美ナリ○世ニ傳ヘ云冬瓜舊疝ヲ治○氣味甘く性微凉ニシて毒ナミ○主治水腫ヲ除キ二便ヲ利ミ渴ヲ止黑炒トナミテ口中ノ諸病ヲ治○葦毒ニ中ルニ瓜冬瓜汁ミ許ヲ油ニ和テ食ベミ村家救急方御藥集成ニ冬瓜ヲ生瓜ト僭リ○小兒痢急ニハ冬瓜陰干一匁猪膽一匁搗粟一匁剉ミ合セ粉ニシ塩湯ニテ用ユ以上和方一萬錢方○小兒渴痢トテ喉絶ナク乾ニ冬瓜ヲ搗絞リ汁ヲ服ベミ萬安方

ニルトウゾク



ボウブラ
ナニグハ　仙臺
ポニフーチニ

ボウブナ　肥前
サツモ　備前

ボウブラ　加州
キノカボチヤ

南瓜
金瓜　兗州府志

飯瓜　行厨集
矮瓜　盧京通志

通瓜　泉州府志
八稜瓜　南雲上通志

京師ニハ誤テカボチヤト呼ブ瓜形圓扁ニメ堅ニヒダアリ初ハ深緑色熟スレバ黄赤色紋紫ニ産スル者ハ形甚大ニメ徑リ尺餘ニ至ル

一種形長ククビアリテ壺ノ形ノ如ニテ深緑色又熟ニテ黄色ニナル者アリ是ヲトウナスビトモ一名カボチヤ　カボチヤボウブラ　ナニキンウリ

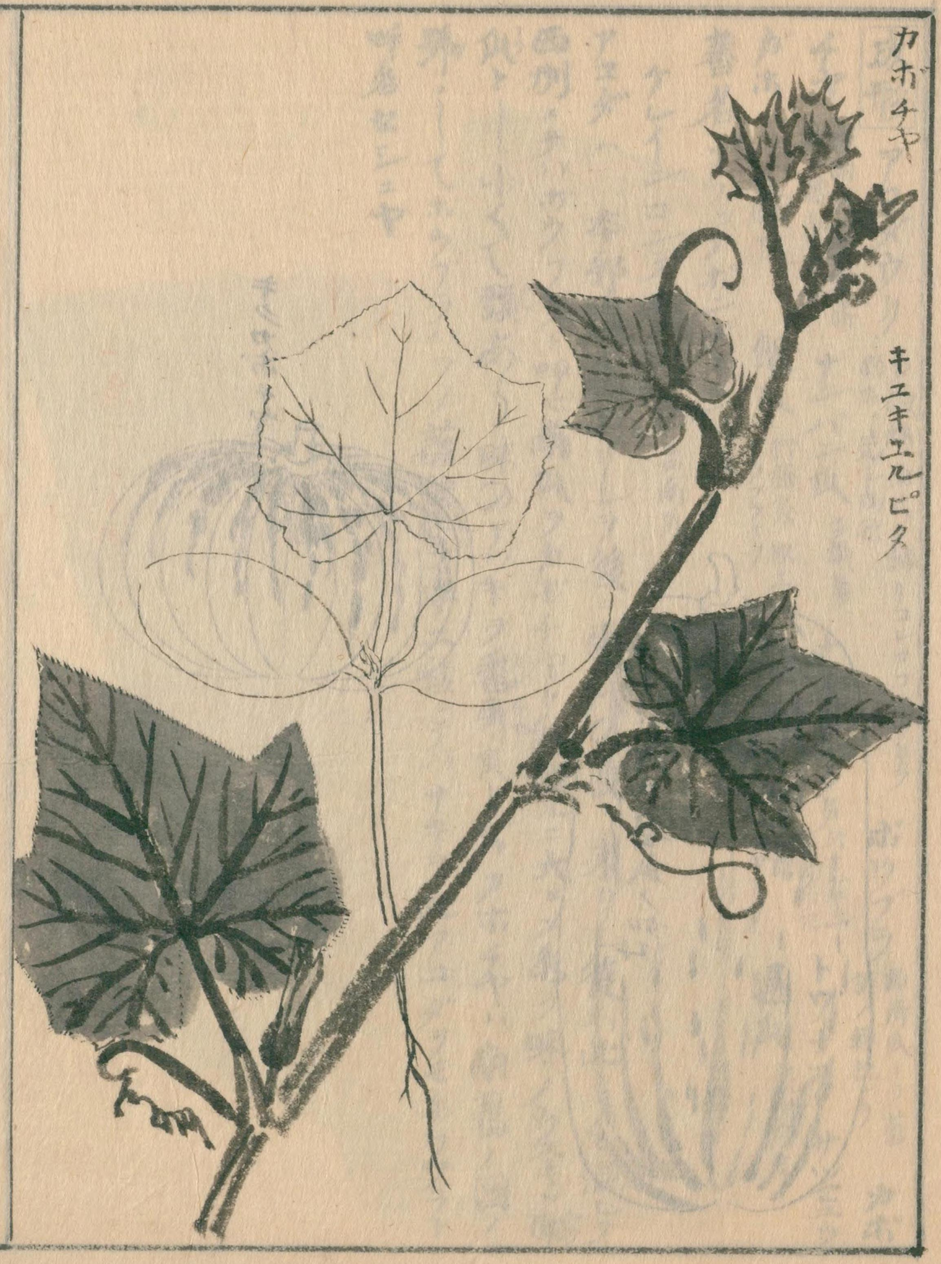
日向ウリイヨ　ナニキンウリ

是群芳譜ノ番南瓜ナリ　一名番瓜　淮南府志

カボチヤ　一名柹頭南瓜　清俗程敘南ノ答　木杓南瓜　日上

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

勢州白子ニハセクラノ如キアリ長サ一尺許ニメ中四寸許是秦州府志ノ条瓜類頭枕ト云ナルヘシ



一種細腰壺盧ノ形ノ如クナルヲクビリボウブラト云
又一種アコダウリ一名アコダボウフラ形小ニメ六寸許正圓ニメヒダナリ
皮色赤ニ集解ニ或紅ノ字アレバ紅南瓜ト名クヘシ汝南圃史南瓜ハ紅皮楓色ト云ヘハアコダウリナリ
北狄青皮如碧苔色ト云ハボウブラナリ
備前ニ金冬瓜ト呼モノアリ形長ク越瓜ノ如ニメ皮赤色ナリ傳言フ
瘡腫ヲ治スト
ベニカモウリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

成形

アコダウリ　多識編　南瓜ヲ訛リコレアコダウリヲ南瓜ニ充ル物狀

チヤ　番南瓜ニテ東浦葉ノ轉訛ナリ　ナンバン瓜　多識篇

ガホ　南瓜　飯瓜　行厨集　以上ホウブラナリ

蕃名　プラッテポンプーン　南瓜

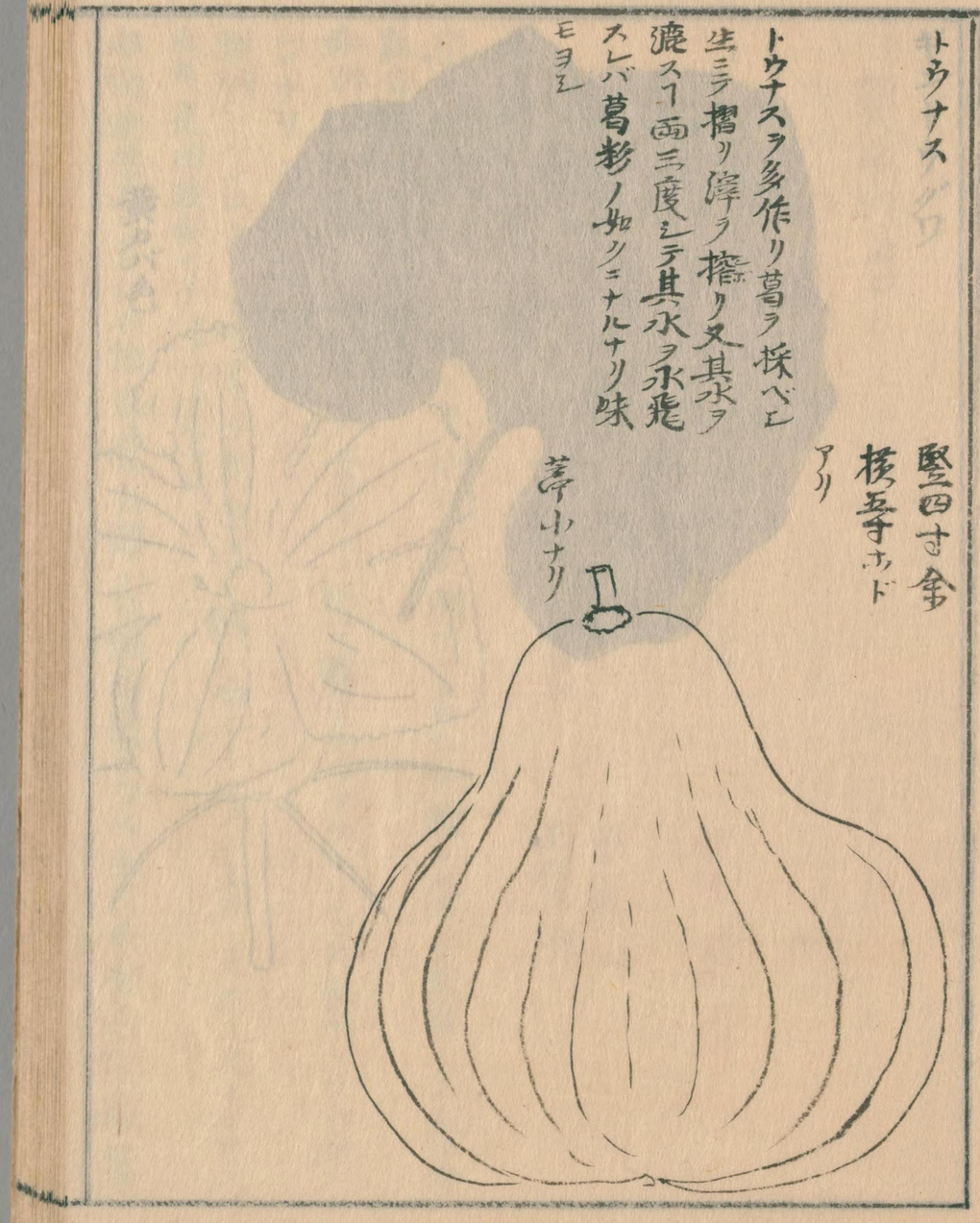
ケレイニロンデポンプーン　番南瓜

アコダハ　本邦産ニアリシヲ後ニ南蛮ヨリ来リシ南瓜ノ渡リ来リシ後ハ此モノモ混ジテ西洲ニテハボウブラト呼ビ南瓜ヲカボチヤト称スルニ大ニメ名ク味ノウスキヲ南瓜(カボチヤ)トシ小クシテ頸(クビ)アリ味ノアツキヲ番南瓜(カボチヤ)トスカボチヤハ南蕃ノ國ノ號ニシテホウブラハソノ蕃語ニテ本ニ種ニアハナキヲ此アコダヲモホウブラト呼名セシニヤ

ナンキンウリ　只ナキニホウブラ尼　トウナス　サツマウリ

番南瓜　群芳譜　カボチヤナリ　通瓜　泉州府志

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　　ガラス使用



トウナス

堅四寸余
核多子ホドアリ

トウナスヲ多作リ葛ヲ採ベシ生ニテ擂リ滓ヲ擠リ又其水ヲ漉スコト両三度ニテ其水ヲ永飛スレバ葛粉ノ如クニナルナリ味モヨシ

葉小ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ミロウリ　アサウリ
都乃宇利　輔仁

越瓜

釋名　稍瓜　食物　生瓜　本経逢原

輔仁　春白　兼名苑　菜瓜　女臂　同

羊髓　同　爾雅作骹　女臂瓜　七巻食経　王臂　同　羊角　同

稍瓜　遵化州志

胡瓜ニ次テ出形胡瓜ヨリ長大ニシテ刺ナシ青白色糟ニ藏メ食用トス又生食熟食亦可ナリ

和州ニハミロウリアサウリノ二品アリ堅ニ筋アルヲアサウリト云豫州ニテハ通シテミロウリト呼ブ又長サ二尺許ナルモアリト云集解ニモ長者至二尺許トアリ讃州ニハクロウリト呼ブアリ皮色深ク肉ハ白シナセスニ上品トス故ニ又モミウリト云是田雞瓜ナリ アサウリノアヲミアルモノ

本経逢原有青白二色青者尤勝ト云汝南圃史ニ云生瓜白者色類扁蒲

青者色類田雞又名田雞瓜又云半破鹽漬入醬為醬瓜或鹽漬晒乾為白瓜

釋名 菜瓜同名アリ一種ノ菜瓜ハカタクリ加州ナリカリモリナリ

京都ニテハ越瓜ノナマスニスルヲモミウリトヲ

唐山ニテハ國ニ因テ方言ニ是ヲ王瓜トヲ

金幹王瓜トヲ者ハ別物ニメ名ニツサノ下ナレ共方言ニ王瓜トヲ瓜ノ一番早ク出来ル故ウリノ王トヲ意ヘ

成形 ニロウリ ツノウリ 本草和名

轉ヲ訛ル說モ朝ハ晩ヨリ對ノ早キヲ

イラリ和漢圖會早瓜ノ俗稱 花モル

蕃名ウイツテ ミテユリユルレン

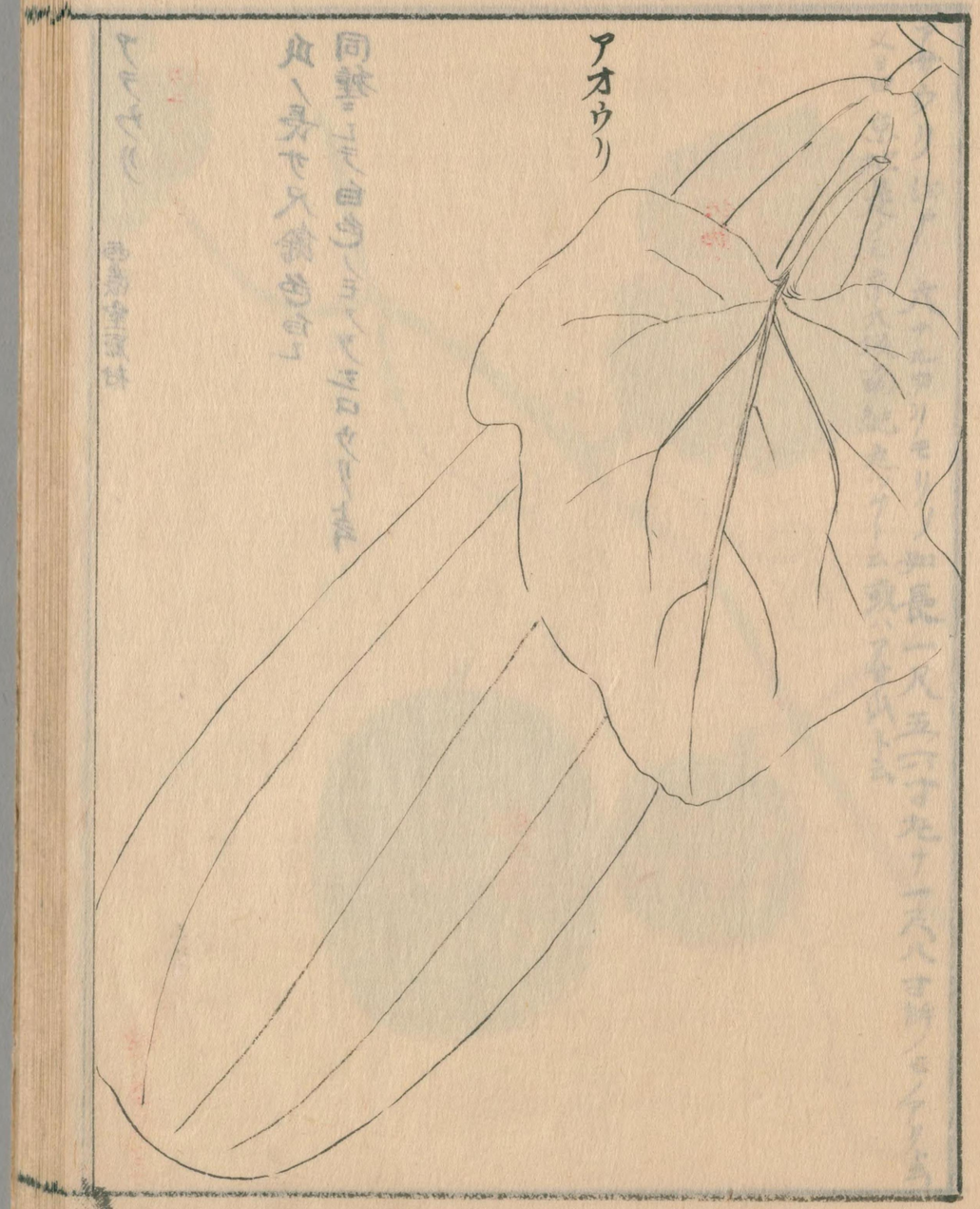
焼酒ニ醉テ人事ヲ顧サルニ此汁ヲ飲生ルトムベニ本朝征驗

ワサウリ 延喜式 アサウリ ワサウリノ下ウリノ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　　ガラス使用

カリヒリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用



カリモノ
カキウリトニハ別物ナリ
ナウリノ同上
アラサギ 伊州勢州
セニシカ 備州
ツケモノウリ 防州

菜瓜
苦瓜 群芳譜 同名アリ

形狀甜瓜ト同ノ大ナリ用テ漬物トス初ハ緑色熟メ黄色トナル
四国ニテ作ル生熟共ニ食用トス
一種形大ニメ筋ノ通リタルヲスハウリ大和トイフ上品ナリ

アヲウリ 勢多宮山産 上品 江戸ヤニテツケル 宮山デナケレバツケヌ

カタウリ 若州加州
ナウリ 和州讃州
ハナボ同上
セルツケウリ同上
セニシカハ同上

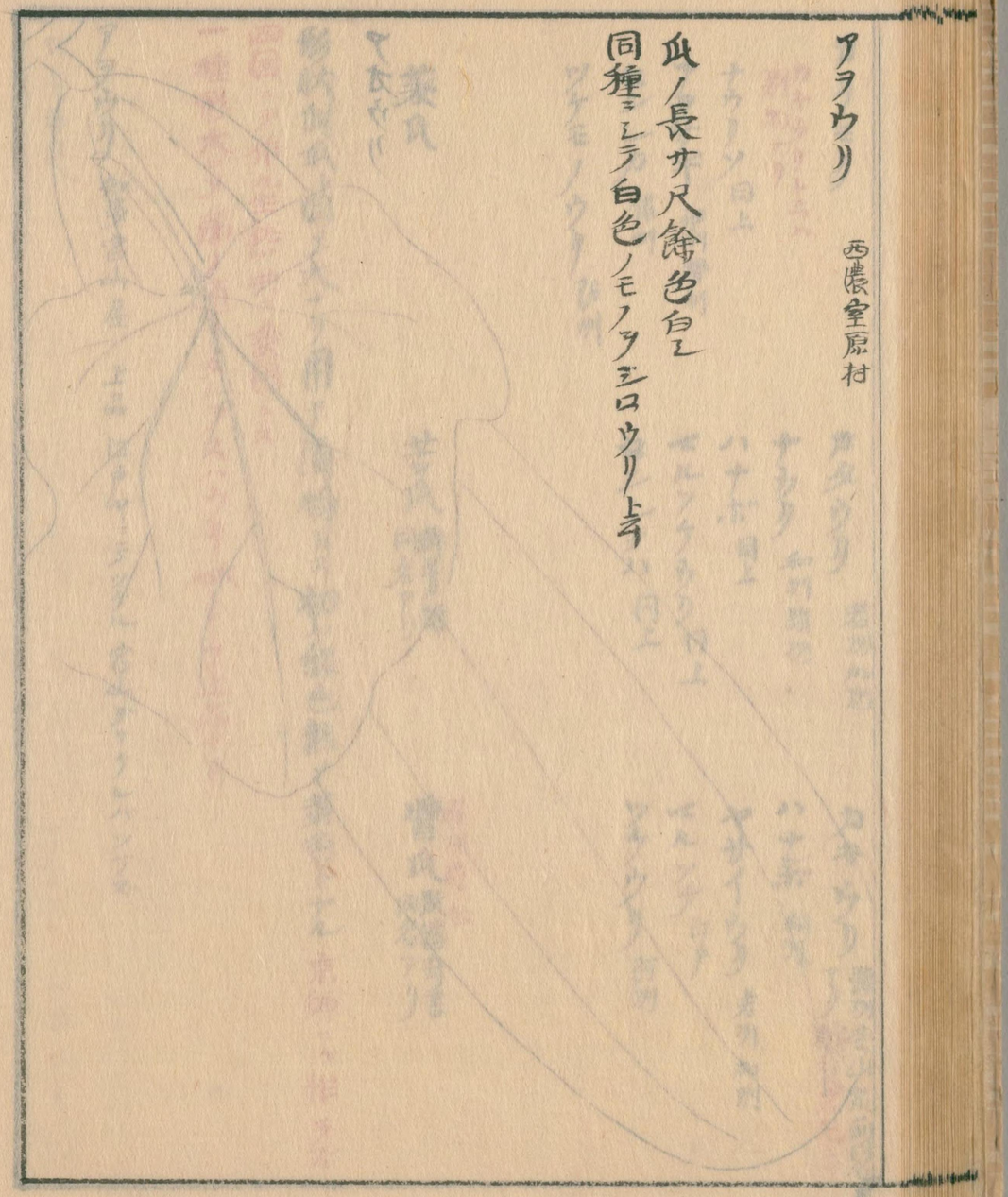
カキウリ 豫州李山氏前同名アリ 越後岩見ニテ
ハナボ 和州
ヤサイウリ 若州加州
セルツケ 江戸
ツケウリ 阿州

腎瓜 蘇州府志 救荒奇書 同名アリ

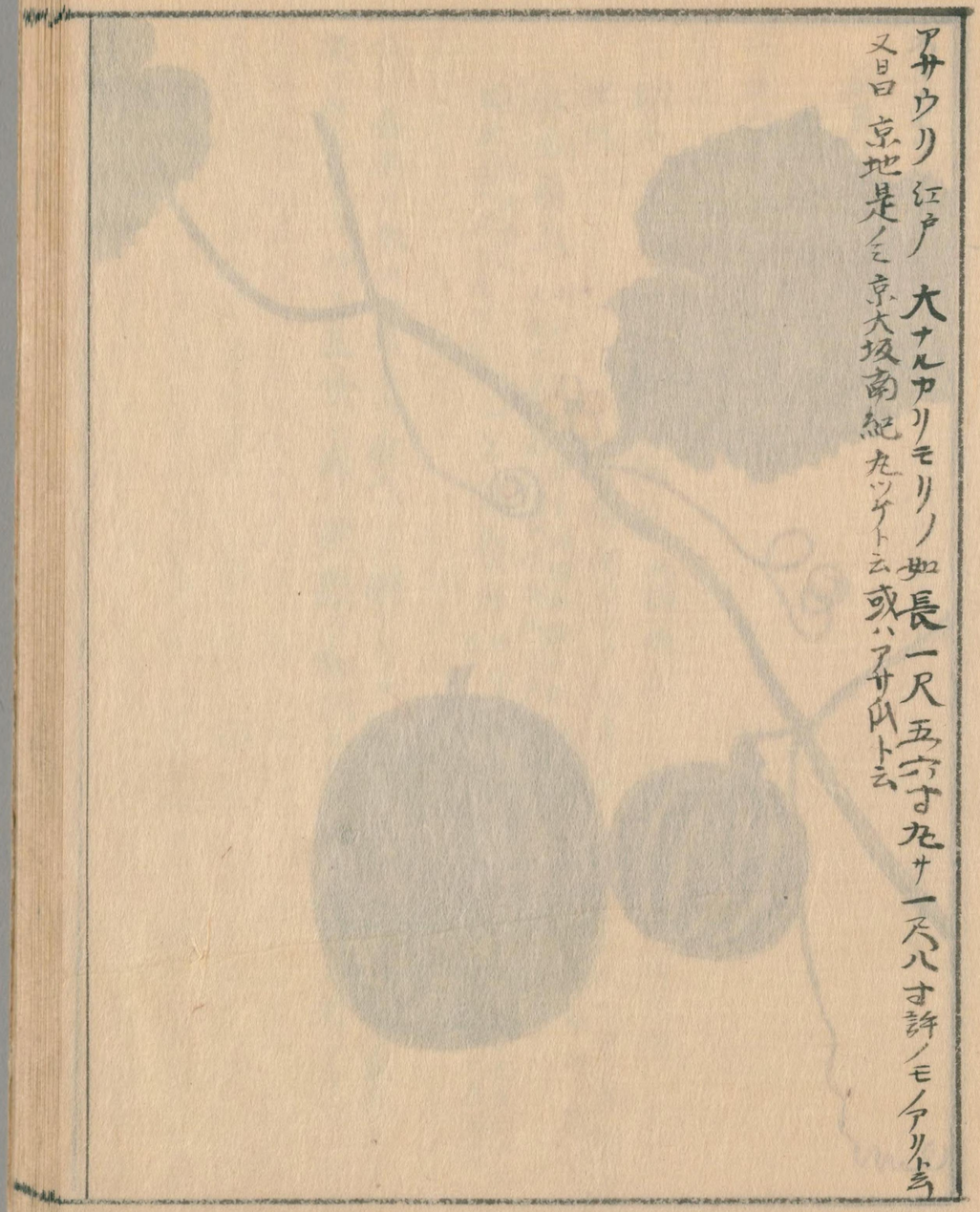
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

アヲウリ　西濃堂原村

瓜ノ長サ尺餘色白ク
同種ニテ白色ノモノアリ二ウリト云



アサウリ　江戸　大ナルカリモリノ如長一尺五六寸九ツ一尺八寸許ノモノアリト云
又曰京地是ヲ京大坂南紀ヘツケト云或ハアサ瓜ト云



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

スヾウリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

キウリ 和名鈔　ソバウリ 同 古名

加良宇利 輔仁　イガウリ

コムコムメル

胡瓜　刺瓜 八閩通志　金瓜 典籍便覧

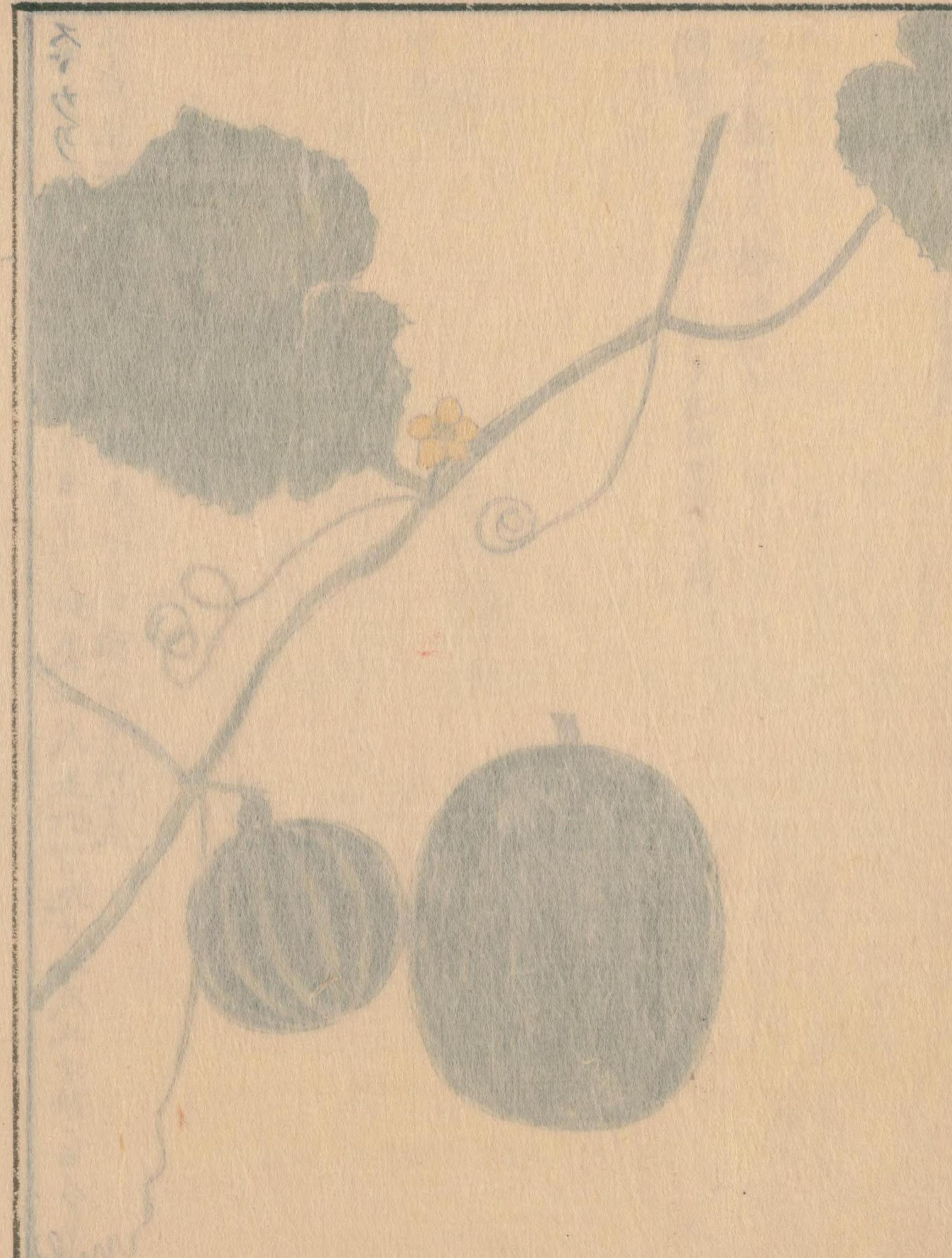
生瓜 同　王瓜 致富奇書同名アリ 鉛山縣志 按時通考　白路黄瓜 大業雜記北戸録路ヲ露ニ作ル

釋名 黄瓜 時珍曰張騫使西域得種故名胡瓜按杜寳拾遺録云隋大業四年避諱改胡瓜為黄瓜

輔仁 胡域多之故以名 出孟詵食經　一名 弄熟瓜 出蜀　勒瓜 出揚多汁　青瓜 熟瓜揔名也以上四名出彙名苑

瓜ノ最早ク熟スル者ナリ緑色ニシテ刺アリテ海参ノ肌ノ如シ熟シテ黄色ナリ故ニキウリト呼ブ生食シ或ハ鹽藏ス和州ニハ熟シテ白色ナル者アリ遅熟

ストム揚州府志ニ白瓜ト云同名アリ



○淋キウリノツル煎服　○湯火傷キウリノ水ニテ洗痛去テアトツカズ　○湯火傷
キウリヲ切フタ物ニ入置ケバ水トナル此水ヲ付　○アセボキウリ切ロニテスル　○五淋
キウリ葉車前荊芥茯苓煎服　○疵ヲイヤス腐ラカシ其汁ヲ付ル

成形　ソバウリ 和名鈔○稜ハ角アルノ謂ニテソバノ所ニクヒ―
フムウリ 多識編
黄瓜(キウリ) 同上 俗云木牢 利色ヲ以テ云　カラウリ 本草和名

胡瓜
蕃名タムメ コンコムメレン
長一二尺又短毛アリ○ハヒキウリハ世ニハヽセテ蔓生ルナリ実ナル事頗ル早シ○擶キウリハ中心ニ三角ノ空通レリ太サ六七寸廻リニ餘ルアリ　又長黄瓜アリ一尺二寸ニ至レリ常ナルヲ哂キウリトテカキニハヽスル故名○早ク実ナルヲ賞ス日乾塩糟ノ漬物モ皆シロウリニ及ハス夏月生ニテキサミ魚肉醋ニ和又生漬ニ宜シクレバ庭訓往来ニモ酢菜胡瓜ノ甘漬ト載タリ○祇園ノ氏人ハキウリ養フ事ヲイム織田信長京ノ祇園社ヲ再興セラレシトキ自ノ紋號木瓜ノ章ヲ神物ノ装飾とせられ俗訛りて本瓜ノ章を神物ノ装飾とせるより俗訛りて本瓜ノ章とたがひて此惑をなせるなし私按図絵ニ出せりとあるぞ太上天皇御服赤袍をめせ瓜と菊とノ御紋を除イルヽナドアレバソモく祇園社ニ瓜ノ章號を用ラルヽモ其故アリシモ知カタシ○気味甘ク性寒ニメ毒有　或日小児ハ多ク忌ベシ○主治黄瓜半熟ノ時陶器ニ

藏メ置其氣洩サル様ニ其蓋ノ合セ目ヲ紙ニテ泥塗リ凡一ヶ月許ニシテ胡瓜
トケテ水トナル此水ヲ火傷ニ貼レバ忽ニ治スナリ和方○焼酒果盛ノ毒ニ中リ
タル時ハ冬ハウリヲスリクダキ汁ヲノム蔓ニテモヨシ○湯火傷ニ生胡瓜汁ヲ
附ベシ常ニ蓄ヘ置ベシ○小便不通ニ胡瓜陰干水ニテ煎用○又方銕ノ錆ヲ
押糊ト合擣ニ附枯落加テヨシ○淋病滞下ニ胡瓜根ヲ米泔ニテヨク洗酒
製ニシテ鮮ニ一匁五ト一包ニシ煎用○酒毒ヲ消スニ胡瓜ヲ食テヨシ○
被創ノ身ノ中ヘ血ノ入タルニハ胡瓜ノ蔓ヲ水ニテ煎用乃下スベシ胡瓜ノ蔓
常ノ茶ノ如クキサムベシ○又方飯ヲノイカニモ黄色ニイリアブリテ粉ニシ麻
油ニテ調子リツクベシ○凍瘡竈瘡ニハ胡瓜ノ皮黒焼細末ニシ水ニテ擦附
ベシ以上和方

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

イトウリ

絲瓜
天羅漿 群芳譜
絲瓜兒 百一選方

釋名 天絲瓜 本經 始自南方
蜜瓜 李時珍曰 來自南方

瓜小ナル時ハ漬物トナシ食フベシ成熟スル者ハ皮内ノ筋絡堅ノ食フベカラズ
ヘチマノ水ハ愛ノ本地ヨリ二月ニ切リ瓶中ニ挿ニ入置ハ多ク水出清白ナリ
俗ニ美人水トス附方ニ絲瓜汁トス赤水玉珠ニ西来甘露飲トス寝瘡ノ葦ニ用
秘方集驗ニ痰火取ニ西三碗加瓜蔞仁天花粉差活紅花薑汁煉膏服即愈
ト云

國老須知 主治筋脈通利喘氣痰咳淋疾小便不利者節葦急引痛脚
痛脱肛者

布氏曰上

ナガウリ 薩州

紡線 撫州府志
天絲 種杏仙方

トウリ 信州

紡線 絲瓜 通雅
天絡 杭州府志

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

○長ヘチマノ霜瘀積ニ効アリト ○治痘瘡餘毒絲瓜霜末白湯下 ○下乳絲瓜霜酒或白湯下 ○喉痺絲瓜霜耳カキニ入イホト吞 喉痺吐血ノ薬トス ○産後種々煩悩スルヘチマ皮子ヲ去カラ斗霜ニシ忍冬軸霜ニシユヅリ葉霜等分温酒下 ○疝ニテアシナド痛ムニヘチマノ水ヲノム ○ヘチマノ水痰セキニ用テヨシ ○大丸ヲ輪ニ切水ヲ入テ煮レバ汁出ヲ煎ツメ痰ノ薬ニ用甚効アリ葉モ茎モ皆粉ニシテ用モヨシ

附録 天羅勒 未詳ナラズ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　　ガラス使用

【成形】多識鷭物類稱呼ニモハトウリヨリ出タル名ク其故ハいろはのへの音トチの音とのゐるあれハへちの間ニ少ヨりの意ニてヘチマト名クと云

長ウリ ナベラ沖縄 絲瓜 西州ニテ専ニ云名ク省テトウリト云ヘチマトモ名モトウリヨリ出ヲトアレバイトウリト云コソ 蕃名スラシゲコレコムメレヒ此モノモト南方ノ地ニ宜シ凡戸々之ヲ營ザルハナシカレ西州ニハ日用の佳蔬トス蓋寒冽ノ土ニ生スルハ硬シ故東国ハ西方ノ種ヲ傳ヘテ播殖リ初ハ其皮ヲコソゲラ料理ヲミラザルモアリキ○凡二月初ニ此種ヲ灰水ニ浸シ晝干後種ヲ下ス○皮ハ皺紋アリ熟ル附ウハカハ包丁刀ニテノコソゲ去豚肉炮魚ノルイト同煮食嫩時モ羹シ或ハ酸田楽トシ豆腐麺トス又狂花并ニ嫩葉巻鬚ヲ淪ニ醋醬ヲ和テ食ベシ

○実老ヌレバ皮硬シ霜ヲ經テハ黄褐色ナリ水ニ浸シ皮ヲ除クニ其中ノ羅文縱横タル絡マテ織成ガテとし瓤ノ中ニ子アリ○コノ老瓜ヲ絲瓜羅トス 鍋釜ノ炭ヲ滌ニ宜シ又タビノソコニシキテヨシヨゴレナバアラヒテマタシクベシ凡面部等ノアブラアカヲ洗ヘシヒゲ髪ヲ去ニハコノモノヲ湯ニ浸シスレバ毛ヤハラカクナリテソリヤスシ○八月十五夜ニ地ヨリ二三尺ノ所ヲ切瓶中ヘサシ置ハシレ多出ル之ヲモテ面ヲ洗ヒ衣ヲアラフニアブラヲ去又ケセウニマゼテ肌ヲヌウルヲス故ニ俗ニ美人水ト云コレヲ煉リテ痰欬ヲ治メ或ハ夏目中兒ノ痱瘡等ニツケテ甚ヨキ事アリ

国立国会図書館 タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

○此汁ヲ澱テ白湯藥鍋ニ代テ飲ニヨシ ○亦傷寒ニ指掌弁疑云絲瓜
蔕ヲ以テ甜瓜蔕ニ換用ル事アリ是醫書中始テ見エタリ ○群芳譜
云藿嘗傳フ絲瓜能敗傷ヲ治ルト然レ共必然ラズ非ニ腦漏ニハ莖ヲ末ニシテ白湯
ニテ飲下スベシ
○氣味甘ク性寒ニシテ毒ナシ ○主治腫ヲ消シ痰ヲ化シ蟲ヲ殺ス ○
汁生ニテ飲ハ酒醒ヲ解 本朝経驗 ○蔕の効甚シ瓜蔕ト相通ヲ 傷寒指掌弁疑 ○痰
喘咳嗽ヲ治ル方絲瓜 燒黒 細末意ニ随ヒ白湯ニテ用べし ○濕瘡ニハ絲瓜
の蔕 燒黒 麻油ニテ調附べし ○小兒黄爛瘡ニハ絲瓜ヲ葉ともに搗ツブシ米粉
ヲ入附べし天疱瘡ニモヨシ ○小兒瘡毒咽ノ痛ニハ絲瓜ヲ黒ヤキ末白砂糖ヲ
加ヘ用 ○又方絲瓜ノ汁水ヲ煖メ臙脂ヲとき用べし ○蜈蚣螫タルニ
ハ絲瓜の根ヲ搗テ酒ニテ用レバ忽痛止ム 以上和方一萬方

ツルレイシ
ゴウリカヅラ 長崎　　レイシ
ニガゴウリ 筑後
ニガウリ 河内 未熟ノ時ニテ苦シ故和漢共苦瓜ノ名アリ　　トウゴウリ 島原
ハルサモアツフルセンチケン

苦瓜 同名多シ
苦蓏 臨桂雜識　　紅瓤 泉州府志　　菩多子 瓜蔬疏
紅姑娘 秘傳花鏡　　君子菜 廣東新語　　菩薩 同上
草荔枝 山東通志　　錦荔枝瓜 黄巌縣志

釋名 錦荔枝 救荒　　癩葡萄 時珍曰苦以味名瓜及荔枝葡萄皆以實及莖葉相似得名

春種ヲ下ス藤蔓諸瓜ヨリ細ナリ葉大サ三寸許五七岐ニメ鋸歯アリ浅緑色毎葉一
鬚アリ葉間ニ花ヲ生ス大サ六七分五瓣ニメ黄色蕚ハ細メ絲ノ如シ雄花多シ蔕下ニ小塊
アルモノハ花謝メ瓜ヲ結ヒ下垂ス皮ニ疣瘩多シ長サ三寸徑リ二寸許初ハ緑色瓜ノ
末ヨリ漸ク黄色ニ変シ自ラ裂テ紅肉ヲ見ス是其熟スルナリ其肉ハ六七分許ノ
大ニメ多ク重ル味甚タ甜シ内ニ皆一核アリ形木鼈子ニ似テ小ナリ霜後苗根共
ニ枯ル

一種ナガレイモハ長サ一尺五六寸九州ニ多シ東國ニ我レハ七八寸ニナル上品

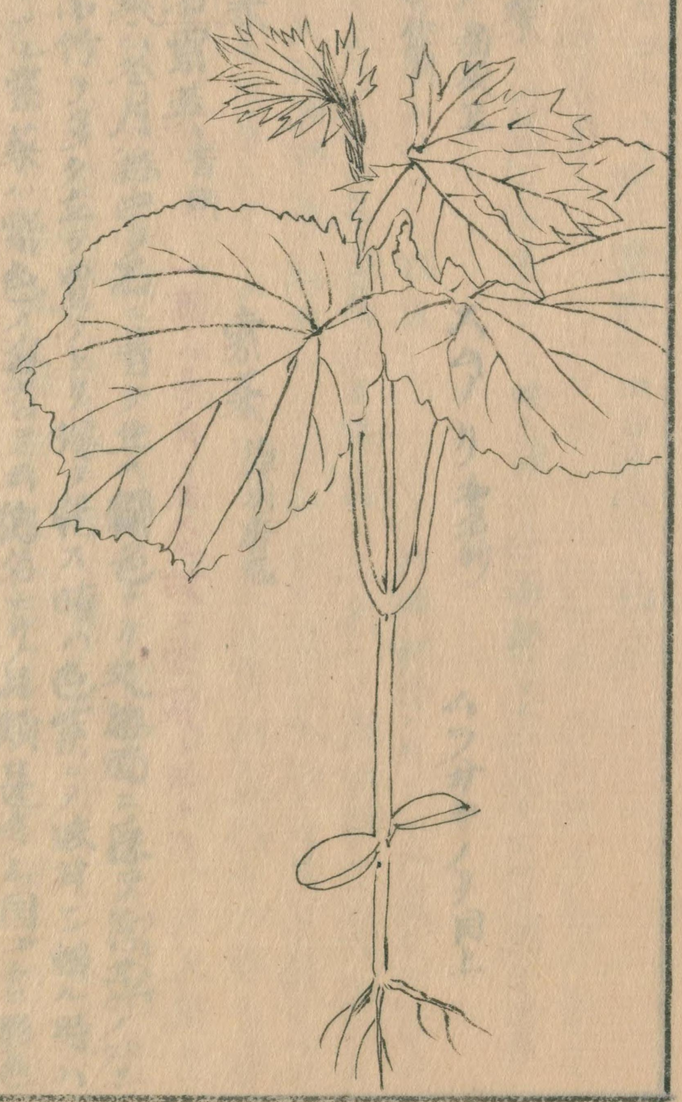
國葉須知　癩菊蔔狀癩風ノ肌ニ似タリ故也朝鮮ノ俗圖ニハ多ク種ヲ常食用ルトヲ茎用ニハ核ヲ專トスヘシ　主治咳嗽喘息以痛下劑ニ効アリ

成形　ニガウリ　ニガコウリ　和漢三才圖會　ゴウリ　ニガウリノ　ツブニリベシ　ツルレイシ　多識篇　タウゴウリ　蕃名ユーセルス　コンコムメレン

○未ダ熟ざる中ニ油ニイリアヂテ酒食ニ供ス隨ヒ苦味あれ共一種の趣あり

○氣味苦性寒ニメ毒ナシ　○主治邪熱ヲ除キ勞乏ヲ解キ心ヲ清ク目ヲ明ニス　○子氣ヲ益ニ陽ヲ壯ニス

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用



長レイシ

九州ニ多シ

長サ八九寸
尺余ニ及フモノアリ

初
緑色
大ニテハ
白色ヲ帯
テ後黄赤
色トナリサキ
ヨリサケテノ瓤
出ツ至テ深紅
色ノ肉柔ニノ
味甚甘

核

中ニ核アリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用

水菜

アマノリ 新校正

アマモ 佐州

スヰノリ 和名抄

ムラサキノリ 同上

紫菜

釋名 紫英 音暢 一說二八子ノ月ニ生スル故ニ紫菜トイフ

九紫菜ハ冬月海中ノ石ニ着テ生ス緑色ナリ又海面ニ浮テ萍ノ如ニ
海畔ニ小竹ヲ多ク立テ置テトリ得テ乾ス時ハ色紫ニシテ味甘シ焙ル時ハ
褐色トナル紫菜ハ紫色ノ海苔ヲイフ云惣名ナリ品類甚多シ国ゴトニ形色
異リ大抵武州淺草ノリヲ第一トス精粗アリ精ナル者ハ形小ク巻多ク色
深クシテ黒シアリ品川ニテハ九月時分紫菜ヲトリ淺草川ニテ製ス故ニ淺草
ノリトイフ粗ナル者ハ形大ニシテ色淺シ下品ニシテソノ赤色ヲ帯モノハ上總ノ
小滝ノリナリトイフ諸洲ノ紫菜最多シ牧挙スベカラズ下總ニ葛西ノリ

紫菜 淳州府志

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

アリ東萄西ノ桑川舟堀島ニノ江今井等ノ村ニテ製スルヲ云
紀州ニ琳琦ノリアリ同アマノリアリ
勢州ニモドノリ一名格子ノリニヤウエノリ
是ハ細長キノリヲ一節ツヽ縦横ニ格子ノ如クニ並ベタルヲ云
雲州ノ十六島ノリハ質細ノ綿ノ如クニシテ乾スト雖モ其大サ大抵二三尺至テ大ナルハ丈餘ナルモアリ大ナル者ヲ上ト又圓サ一寸許ニノ長ク碎ナキヲ乾タルヲカモヂノリト云又重テ下品ナルヲカキノリト云
神代ニ大社大神岩ヲ以悪ナヲ退治給フ其岩十六ニワカレテ島トナル
此島ニ生タル海苔ヲ正月元日雜煮ノ上濃ニ歳神備ヘ家内是ヲ食ス
ハヘハ其年モロ〳〵ノ邪氣ヲヲツフルフトモ御神德ニヨリ十六島ト云テヲツフルヒトヨムベシ
三サキノリ 勢州ノモドノリノ如ニ製ニ色深紫ノ光アリコレヲ院ノリト云
九十九ノリトモ云
石州ノカモヂノリ 雲州ノカモヂノリト同ジ

ハチノスノリ 塊ニ蠹穴多ニテ蜂窩ノ形ノ如シ
藝州ノ嚴島ノリ
同廣島ノリ一名仁保ノリ
泉州ノムセロノリ
若州ノナセノリ
但州ノ瀬戸ノリ一名但馬ノリ城崎ノリ
同ハカリノリ
長州ノムカックノリ
對州ノアマノリ
同佐護ノリ 同鴨崎ノリ
越後ノ笠島ノリ 獻上アリ
丹後ノ袖名ノリ
備前ノフヂトノリ一名ウキノリ
防州ノ三島ノリ
肥後ノ滿願寺ノリ
豊前ノ小倉ノリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

豆州ノ三島ノリ
奥州ノ仙臺ノリ
土州ニツナギノリ
周防ニミヒモノリ
若州クロノリ　浅草ノリヨリ色洗ヒ
肥後ノコトブキノリ　水善寺ノリノ偽物ニスル

比外諸州ニ紫菜アリ　朝鮮ニハ紫菜ト丹後越前越後等ニアリ
又巌奥ノ時雪中ニ採テエキノリトス丹後越前能州等ニア
其紫黒色ナルヲ黒ノリトス紀州石州丹後若州越前能州等ニア
ノ

オニノリ　知多郡師崎　紫菜
ユイセノリ　三州奥郡ユイセ村　同
ワグノリ　勢州山田ニテカル　トバニ見ノ間ワグ島ニテ伊勢ニテノ上品ニ水ニテ數度洗ヘバ紫色ニナル
品川生紫菜（ナマノリ）
菅西紫菜（カサイノリ）　江戸
浅草ノリハ品川ヒ海岸ニナラノ木ト相唱フ木モヤ木サヒ亜其木ニ生ズ又曰ク芝ニテ産ル浅草ノリトル木ヲサス其木ヲソダトス云木ナリ海中遠浅ノ所ニサシテ田圃ノ如ク久ク右ヲ「ヒビ」トス云其木ニノリ生ジツクソノ木一年毎ニ替ルナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

陸奥名取ノ関ノ製
カバミノリ　ナコソノリ　ヒモ
色黒メ下品ナリ　如此四ノ切リ
ヒワエタルモノナリ

アヲサ

トコロテンニグサ

アヲサ　　チサノリ　阿州

石蓴

海中ニ石ニ着テ生ズ菜ト形状同クメ緑色乾ノ紫色ニ変ゼズ子バリアリ食料トス諸州共ニアリ国ニヨリ粘セサル者モアリ

一種海中石上ニ生ズ車前葉ノ如ク深緑色光アルヲ泉州ニテアヲサトイフ摂州ニテニガアヲサト肥前ニテガニアヲサトヲモユレヲ賞ル下品ノ者ナリ又アヲノリノ個キモノモ紀州ニテアヲサトヲ賤民ノ食トス今ノ勢州ニ又陟釐（カハモヅク）楫（ニブノキ）モアヲサトヲ皆同名アリ

○アヲサハ知多郡須佐師崎也ニ多シ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　　ガラス使用

ドコロテングサ（トコロテンハ先ルナリ）
コルモ　出雲風土記
コーロブト　和名抄　コルモハ同上
甚寒冷之可畏食之者ヲ指テ心太ト名ク其中傷ノスルモ不厭ノ意ナリト云説アリ

コラルリナ
石花菜
釋名　瑣枝
石花ハ通志畧(トサカゴケ)　深山ニアリ苔ノ類ナリ
廣東新語ニ白者為瓊枝紅者為草珊瑚トアリ海中ニ生ス高サ三四寸
形状石蘂(ゴケ)ノ如クニメ枝多ク甚細クメ亂絲ノ如シ紅白黄紫碧ノ数
色モアリ採得テ海濱沙上ニ於テ水ヲ灌キ暴乾スレバ薄褐色ト
ナル是ヲ四方ニ送リ出ス牛ミ唐商人多ク買ヒ帰ルコレヲ牛毛石花ト呼
ブ夏月市人水ニテ煮烊シ熱贊ニ乗ジテ滓ヲ漉去リ冷スナハ凝結メ瑪瑙
ノ如シ細方條ヲナシ醤油薑酢ニ和メ食フ是ヲトコロテンニト云
トコロテンニ　時珍食物本草ノ瓊脂ナリ曰今人以石花菜洗去砂入
鍋中和以小水煮數沸帯熱攪數十轉便烊如膏糊加以砂仁椒薑
等末取貯盆内稍冷凝結如琥珀如瑪瑙謂之瓊脂或醤或糟氷盜可

之瓊脂ヲ風乾シ水氣盡テ紙ノ如クナルヲカンテンニト云色白シ或ハ紅色
或香色ニ深メ用テ軒鱠(サミミ)ニ雜テ美シ
○カンテンニハトコロテンニヲサラシタルモノヽ伏見ニテ製ス
角ニ拵タルモノヲ角カンテンニト云赤モ白モアリ
○熊野ヨリ尾州ヘ出ス　伊豆ヨリ出江戸ヘ出ス名古屋ヘモ大坂ヘモ出ス
四国九州ヨリ大坂ヘ出ス　三州ハ紫色ニメノリケハナキヤウニミユヤワ
ラカナリ　伊豆ノ産ハ上品ナリ
伊豆ハ廿貫ナラ熊野廿一貫モスル一割程チガウナリ
ヒネデ物ハヒコイト云　志州ヨリモ出
トコロテンニハ藻ヲサラシツチニテチヽキ石ツヅキトリホシテハ水ニ入水ニツ
ケテハモミ流水ヲ汲ミ汲水ハ不宜水入テ煮コヌカノモミ出シヲツカフソレヲ
スイノニテ漉シキリダメニ入風ニフカセナラシ置トカタマルソレヲ切ル
煮ル時ニ餅米ノ粉ヲ入ル水カゲンニキモリアクサラシヨキホドノリハ
ヨクイ出ル　タノ時ニコヌカノモミ出シデタク
乾ヒテ居ル草ハキリヲ吹テ打ソウセ子バ折レル
○カンテンニ　角カンテンニ　バラカンテンニ　白ト赤トアリ伏見ニテ拵ル今ハ所々

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

ニテ製ス大坂ニテモ製ス
玉ノリ カニテニ十夕喜ナタ又製ス色カハリテ持ニクシニルク巻ツケテ
アリ スイセニラキラ又藤ナルモノ〻紙ヲ巻タル如ク近年ハコナタニテモ
製ス赤黄白青アリ薄キモノ〻ヘシ イリ酒又ハ取合ニヨリテ物ナドニモ
ナル鉢物向付ノアシラヒ等ニモ
又日大坂ヨリ外國或ハ清朝エ交易ハ御用ニテ大坂天満橋北詰町人大根屋
小右衛門相勤ム

トサカノリ 和名抄
グルーテセーモツスケニ

鶏冠菜 圖上

烏坂 昔延壽草

雞脚菜 石花菜ノ集解

海中ニ生ス赤白黄緑紫黒ノ數色アリ赤色ナルヲ錦ノリト云
ニス鴨脚菜ノ如クノ極テ小ニ其刻缺雞冠ニ類ス採テ食用
トス
煮ルオハトケテ石花菜ノ如シ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

ノノリ　延喜式

ノデノリ　跳子裏

鹿角菜

書角菜　東醫寶鑑

釋名　猴葵　因其性滑名

海藻石上ニ多ク叢生ス長サ二三寸枝アリテ鹿角ノ形ノ如シ枝ゴトニ許形圓ニノ中空ニ大サ一二分ニノ上下狹ク紫黄色採テ味噌汁ニ入レ食フ瀬海ノ人鹿角菜ヲ採テ沙上ニ置キ屢水ヲ灑キ晒乾スルヲ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21

ガラス使用

公愛ジテ黄白色ト九薄ク製ヌ方尺許ノ大サ也席ノ如シ肥前ノ五島平戸
志州五州紀州ノ熊野阿州土州防州製州與州ノ僧堂南部松前等ノ如ヨリ
出ル朝鮮ヨリモ来ル五島ノ産ヲ上トス是ヲ五島ノリト云水ニテ煮テ糊トナ
シ或ハ婦人ノ髪ヲ洗フ

國茅類和 主治淋疾血積心下痞鞕小便不利者亦婦人血塊小腹痛
月経不順滞下赤白漏下痔脱肛蓄
○下便毒フノリ白茶 煅七次 各三匁水一盃半煮至一盃臨卧空心頓服 ○
口中骨立タルニフノリヲ含ム ○フノリ薄ク切ノドニツカヘタルニフノリ湯ニテトキノメバトラル ○催生
呑ノドニツカヘタルニフノリ湯ニテトキノメバトラル ○催生
○湯火傷ニ霜香油調敷

熊野志州伊勢ニテモ製ス草ノ熊野志州ヨリ来ル イセノリハ茶色ハタナドニ
用之土佐トサハノリツヨシ壁ナドニ用ユ

コフノリ　誤テ昆布ノリトス

ノヂノリ　水戸

スギノリ　筑後

希莱　八閩通志

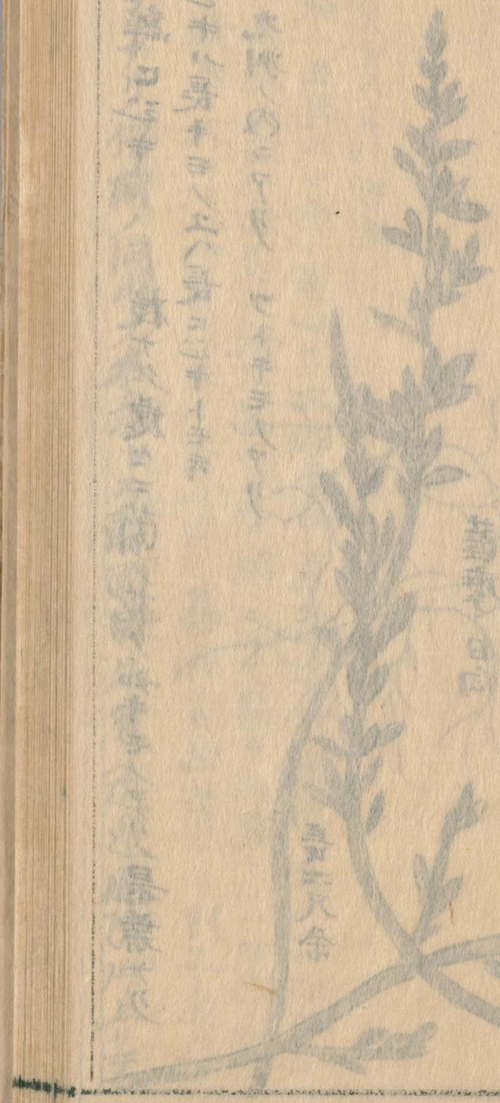
フノリノ一種ニテ小ナルモノナリ長サ四五分形細ク多ク叢生ス紫色或ハ黄紫色採テ乾シ食用トス諸州皆アリ寒中ニ採ルヲ上品トス

ヒゾキ

羊栖菜 漳州府志 閩書 南産志

虎栖菜日上

前ヨリ鹿角菜ヲヒゾキニ充ルハ誤ナリヒゾキハ伊勢ヨリ多出



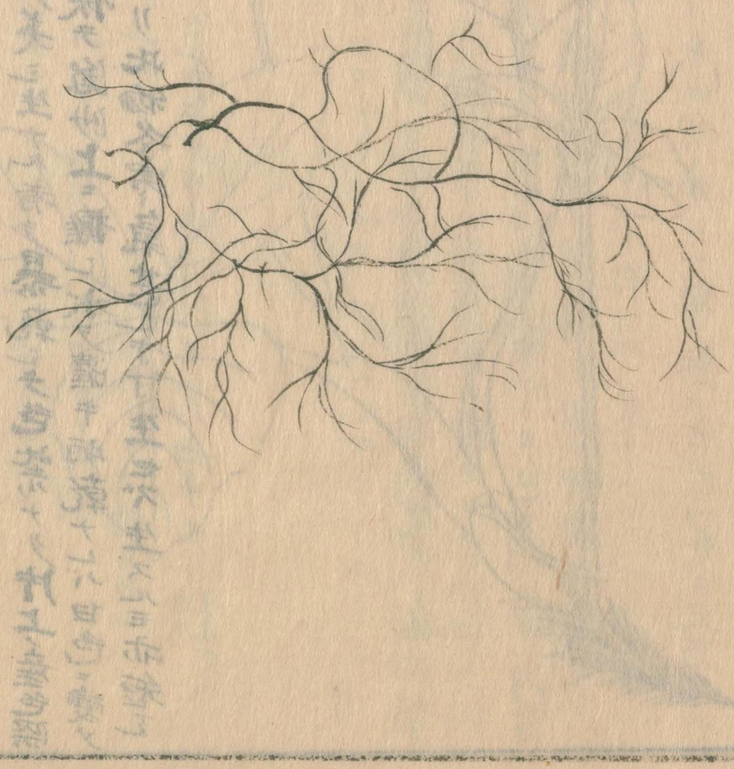
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

一種 朝鮮ヒジキ　枝ナク處々ニ蘭ノ花ノ如キモノアリ是葉ナリ
コノヒジキハ長キモノユヘ長ヒジキトモ云
和産ハ九州ノ内ニアリ　フトキモノアリ

虎栖菜　閩書南産志
一種ヒラヒジキ　志州御坐ノ名物
ヒグラヒモ　北国産　ヒジキノ長キモノ

ミラモ
ソウナ　加州

龍鬚菜　同名多
縮菜　行厨集
麒麟菜　盛京通志



諸州皆コレアリ備前ノ岡山ノ名産トス即「ヒロ」牛窓ノ近邊尾津片上等

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

ミツカシワ

睡菜

釋名 瞋菜 音眠

鎮痙醉草
嬾婦蔵和漢

ヨリ出スモノナリ形細長ク燈心ノ如ニノ枝アリ生ナル寸ハ黒色微褐泥ト同色ヤリ煮テ銅器ニ入ルレバ色青ノ美ニ生ナル者ヲ暴乾ニシテ色紫ナリ片上ノ產色深クメ上トス他處ノ產ハ色淺ク採テ海沙上ニ攤シ水ヲ灌キ晒乾ナレバ白色ニ變メ美ナレ尼味ハ生乾スル者ニ劣レリ此物冬寒ク氣甚ニキ寸生セズ生スルモ亦短ニ故ニ加州ノソウナハ皆短ニ

ミヅカシハ　ミヅハニゲ
ミヅコボウ　ミヅタケ
トウオモダカ　ミツバゼリ 越前
ミツバオモダカ 江戸　キジンサウ
ミツモタサウ 尾州古名　テウセンヲモダカ 京古名
ミツバカウホネ 武州東高野山

和蘭茶鏡　ニリホリウム アノワテキウム 羅 ワートルデリプラード 蘭
池澤中ニ生ス甚繁茂ニ易ニ春舊根ヨリ葉ヲ生ス一莖叢生三四尺許花ハ長ク穗ヲナシテ莖上ニアリ一穗或ハ六瓣大サ五分許未ダ開カザル寸ハ白色ニシテ末紅ナリ已ニ開クヨハ内雪白色ニシテ節多ニ形竹鞭ノ如ク大ニシテ長毛アリ葉モ白ニ根ハ緑色横行ニテ蔓草根ニ似タリ
文化年中江戸ノ花戸春葉ノ未出時ニ肥タル根ヲ鉢ニ栽花ワサビ又万年竹ト名ケ賣ル

國茶須知　川ミツノ根 城州御菩薩池ニアリ主治老人虚人不眠者ニ最求ニ

ミツカシハ
ヌマゼゴボウ
カゲノハ同
カハミツバ 国茶須知
ミツバカウホネ 武州東高野山

ニテ白湯ニテ用ユ効アリ或ハ病後夜不臥得小便數ノ者ニ
○睡茶ヲ酸棗仁ノ代茶ニ用ルモノアリ
○葉ノ味苦

和蘭茶鏡　試効　莖葉苦苦茶用トス此茶香氣揮發ノ氣ナクゲレナアナアル
セノ如ク（性効クハツヒア同）唯苦味ノ質ノ衝動ニ由テ胃ヲ健運ニ胃腸虚弱ニ
メ粘液滯積飲食消化セサル等ノ諸症ヲ治
ノ陰重ノ脾病イホコンデル萎黄毒等ノ諸茶効ナキ症ニ効大効アリ
口須固閉歌熱發スル頭痛粘痰多キ喘急沈滯ノ井痛婦人経閉黄
疸水腫痛風等ニ治験ヲ称ス

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

イワイチヤウ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

科名草 群芳譜
三秀 同上
玉堂 同上
靈芝 本草原始

玉衆 日本紀
菌蠢 同上
賴茸 事物紺珠
龜蕈 同上
神芝 類書纂要

不死草 事物異名
金堂 同上
靈芝草 訓蒙字會

釋名 茵 音因 時珍曰芝本作之篆文象草生地上之形後人借芝字為諸芝遂加草以別之也爾雅云茵芝也註云一歲三華瑞草或曰生於闇處曰芝昔四皓采芝眞仙服食則芝本菌屬可食者

輔仁 赤芝
黃芝
白芝 兼名苑

朱草 芝
地節 大清經
九曲 已上兼名苑
白芝

五色芝ハ仙茶ニ乆尋常ノ品ニ非ス和產十二其說ノ所在歷ヒ乆信スベカラズ

五色芝ノ外ニ紫芝ハ和產多シ

サイワイダケ
センネンダケ 勢州

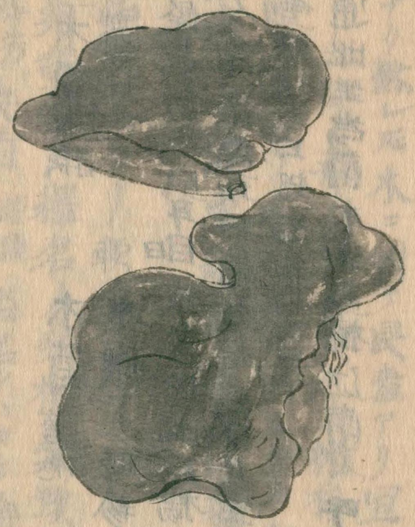
カドイデダケ 丹波
レイシ 京尾州

カドデダケ 長州
吉祥ダケ

イワイチヤウ

ニロクモサウ 播州池田

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用



キノラデ

ヤセノカニノレヤクシ紀州 子コビヤクシ江戸 コゴミヤクシ奥州

一名靈芝 秘傳花鏡 紫靈芝 本草原始 紫芝 通雅

紫脆 同上

處々ニヨリアリ或ハ樹下ニ生ス一定ナラズ形松茸ニ似テ蓋紫赤色ニメノ光リアリ蓋ハ面黒褐色背ハキレナクメノ淺褐微白犬中長短一ナラズ蓋多ノ並ビ重リテ雲ノ如クナルモアリ莖ニ枝アルモアリ莖ノ側ニ蓋アリテ柄予ノ形ノ如キアリ皆堅硬ニメ食フベカラズ甚初生スル時ハ蓋ナク光リテ筆頭ノ如シ漸ノ長メ蓋ノ形ヲナス赤褐色黄邊久シテ黒褐色ニ變ス採貯ヘテ蛀ミ易シ蒸過スヌハ久ヲ經テ蛀セズ

集解 吳唐草 詳ナラズ 獨搖芝ハ赤箭天麻ノ其餘品類詳ナラズ

○靈芝ヲ貯フニ土ヲ以テルハ悪シ今ニテモスガヨシ

○藝州中島ニ多シ

キクラゲ　キノミヽ 和名鈔

木耳　木𦼮 八閩通志　菌耳 名物法言
䕷耳 尺牘雙魚　萮茈 音需 正字通　木椹 日
木檽 日上　黒木耳 外臺秘要　樉脯 佩文齋詩選
釋名 木檽 而軟二音　木菌 着巻二音　木㙡 音縦
樹雞 韓文　木蛾　時珍曰木耳生于朽木之上無枝葉乃
濕熱餘氣所生曰耳曰𦖥象形也曰檽以軟濕者佳也曰雞曰㙡因味似也
南楚人謂雞為㙡曰菌猶蜠也亦象形也蜠乃貝子之名或曰地生為菌
木生為蛾北人曰蛾南人曰蕈
正字通地生為菌木生為檽江南人呼蕈北人曰蛾江南呼為菰

木ニ生スルクサヒラ及キクラゲノ總名ナリキクラゲハ山中諸朽樹上ニ生ス形人耳ノ如クヽ薄ク多ク重リ生ス淡紅褐色採テ乾セバ黒色ニ変ズ煮食ハ味淡脆ナリ然レ𪜈木ニ因テ良毒アリ宜ク其木ヲ擇ブベシ桑槐楮楡柳ヲ五木耳トスルヿ恭ノ説ニ見ヘタリ楮接骨木榕等ノ木耳最佳ナリ楮ニ生スル菌ヲカウゾダケト云九州ニテカウゾナバト云榕ニ生スルヲアカウナバト云舶来アリ廣東新語ニ木耳以桑槐楡柳榕樹上生者良柘木次之ト云

桑耳　此條ニ品アリ軟ニメ食フベキモノハ桑耳ナリ硬クヽ食フベカラザルモノハ桑黄ナリ釋名ノ桑檽桑蛾桑雞ノ三名ハ桑耳ノ名ナリ之一名五鼎芝 群芳譜 桑菌 證類本草 俗名クハタケ桑樹ニ生スル菌ナリ茶色ニメ冬ニ月多シ釈名ノ桑臣桑上寄生ノ二名ハ桑黄ノ名ナリ一名桑黄菰 附方 一名木麦 證類本草 俗名メシモコブ桑樹ニ生スル猢猻眼一名猴頭 通雅 ナリ故ニ硬菰ト云肥前平戸ノ海中睢島アリ故ニメシモコブト云桑樹諸木及土石ニ生ス木ニ生シ形円ニメ内黄色光アルモノヲ平戸ニテ実コブト云或ハ實コニブト云桑上ノモノヲ上トス土石上ニ生シ形扁クシテ内黄色ナルヲ平戸ニテ花コブト云或花コンブト云黄色ニ微赤黒ヲ帯ルモノヲ平戸ニテ古コンブト云

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

貨
今茶舗ニ賣ルモノ多丹後ノ産多シ
木耳多桑樹接骨木ニ生
用薬須知續編 一種木月醫学綱目云木月蓋木耳之類層疊ナリ
○崩中滯下ヲ治スルニ効アリ
輔仁 桑菌 木芝 楊玄操 五木耳 名檽 蘇敬注曰楮楡柳桑木檽耳此為五木耳
桑上寄生木精也 大清經 和名久和乃多介
桑黄 薬店ニコシカケ桑寄生ト云寄生ヲ兼桑寄生ト云
飛州ニ産 桑樹ニ生ス中風半身不隨ニ煎服シテ治ス
桑寄生ノカワリニカラダノ痛ニ用テ効アリ
○中症前用心ノ方桑黄木通甘草人參五リニ而一廻リ用レバ一生中症ヲ不病

槐耳 ヱンジユダケ
一名槐檽 千金方 槐耳赤雞 同上
楡耳 ニレタケ
一名楡肉 授時通考 楡蕈 同上
コレハ楡木ニ生スル菌ナリ黄色ナリ唐山ノ人尤賞ス長崎ニ来ル清商モ持チ来ル此品蝦夷ニ多シト云
柳耳 ヤナギタケ
一名柳樹蕈 附方 柳蘑菰 集驗良方
柘耳 ヤマグハダケ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

楊櫨耳　ヤマウツギダケ

杉菌　スギタケ

深山杉樹朽株ニ多ク叢生スル小菌ナリ形鬼蓋ノ如ク裏ニ切レアリ黄色或ハ白色ナリ

皃
鬼茨蕈　サイカチダケ

一名皃角樹上ニ蕈ス本草方

皃茨樹上ニ生スルキノコヲ或ハ菌ナリ毒物故菜用ノミナリ

サイカチダケ

シヰタケ
ベロカルミ 蝦夷
香蕈
香菌 行厨集
雪菌 同上
香菰 泉州府志
處蕈 同上
香蘑菇 山西通志
香蕈菰 八閩通志
雪蕈 廣東新語 冬取者良
香蕈 清俗

柯樹ニ生スル菌ナリ生ナルハ黄色乾者茎蓋共ニ黒色ナリ紀州熊野ニテ取ル者柯樹(シヰ)ニ拘ハラズ楮櫧(シラカシ)ハビロカシ ソウノキガシ シデノ木等ニ生スルヲ採ル又右件ノ木ヲ伐リ置キホドヨク朽タルヲ秋雨ノ假槌ニテ撃ツ時ハ多ク生ス採テ串ニサシ遠火ニテ炙リ乾ス是作リ茸タケナリ漢名家蕈 廣東新語 餘木ニモ生スレ圧毒アル木ニ生スルハ採ラズ ブナノ木ニ生スル者ハ毒アリ其菌ノ形茎ニ旁ニヨリ出テ飯鍬(シャクシ)ノ形ノ如シ熊野方言ヲメキ誤リ食ヘバヲメキサケビ上ズシテ死スト云 近年文化ノ比東濃付知村ノ山ニテツクル栗(櫟カ 枹カ)ニキシデ等ノ木ニ生ス木ヲ切リ山ニ多カケ置キ三四年目ニ生ス

豆州天城山ニテアカミデソノヽ木等ノ木ヲ以テ香蕈ヲトル伐テ三年ニナル木ヲ水ニ漬シ陰地ニ置キ斧ヲ以テタヽキ声ヲナストキハ二日メニメ生出春秋ノ二時ニ生ス春ハ微厚ク数サミ秋ハスコシ薄クシテ数多シ微厚ノクヽラ白キ者ヲ上品トス豆州志稿ニハ秋生スルハ肉厚ク久ニ耐ヘ其生スルモノ味更美ナリト云リ此ノ蕈ヲ長キ竹ノ串ニ数多サシイロリノ傍ニ立置遠火ニテ乾ス○ナラノ木シデブナナド何ニテモヨシ栗ナドハアシヽ、サシクチ五六寸ノ木ヲ秋切置キ年ノ秋クダ切ニシ槌ニテ山ロヲタヽキ皮ハダヘヒヾキノ入ホドホテ皮ヲナタニテ切メヲツケ水ニ三日許入ソレヨリ取出シ陰地ニヲケバ年ヽ二度ツヽ出ル
○驚蕈トテ木ロヲ多クタヽケバシイタケコモカナルヨシ
国芸須知 主治婦人経閉ノモノ骨蒸労咳ニ宜シ又跌撲ニ宜シ
○合食禁シイタケトイワシ
○名古屋ヘハ三州ヨリ多出ス
○胸蟲大シイタケ白水ニ浸洗縁ヲ去日ニ干粉ニメ糊ニテ汁ニ
○又方シイタケ十二三本水天目ニ二ハイ入一ハイニ煎シアツクメ一度ニ用
○魚ノ毒ナヒレナト湯フリ出シノム エイ骨立タルニ一 水ニテモミ付ル

○霍乱ニイタテニホリ汁ノメハ吐瀉ヲ治ス

集解

合蕈 一曰合蕈又名台蕈上ケ 詳ナラズ

松蕈 三曰松蕈生松陰采無時上ケ マツダケ

稠膏蕈 二曰稠膏蕈生孟溪諸山上ケ

詳ナラズ

麦蕈 シヤウロ

玉蕈 シラシメジ

黄蕈 キシメジ

紫蕈 ムラサキシメジ

○シメジニ一種似テ非ナル者アリ煮テ子ヱルモノハ有毒吐瀉ス

○艸本シメジトテアリ形大ナリ毒多煮テ子ヱル惣ラ煮テ子ヱリ出ルモノハ毒ヲ

○キシメジ 倭本草ノ附録ニ黄(キシメジ)ト地カサ小ニシテ茎ハ不都合太ナリ九

圳ニアリ 黄纈蕈 本草ニ菌譜ヲ引ク

シメジハ道ヲツクリテ生スルモノナリ

国立国会図書館 タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21 ガラス使用

マツダケ

松蕈 香蕈集觧　松耳 東醫宝鑑　松花菌 本経逢原

鏸蕈 呉蕈譜　松菌 蕪洲府志

八九月ニ生ス黒松多キ国ニハ茯苓多シ蕈サシ赤松多キ国ニハ茯苓少ク蕈多シ故ニ京師ニ蕈多東國ニ少シ京師ハ丹波ヨリ出ス者最早ケレ𪜈劣レリ下品ナリ蓋ノ色黒キヲ帯フ 深草稲荷山ノ産ハ甚大ニシテ味優レリ蓋厚ク白色ニシテ堅シ上品ナリ粟田ノ産モ亦同シ山科及上加茂ノ産ハ蓋厚ク堅クシテ黒色ヲ帯ブ嵯峨ノ産ハ蓋薄シ此地ニ四品アリ上品ヲ鷲釈如ト云茎極テ粗大地中ニ蟠屈シテ横斜ニ突出ス色潔白香氣多ク味脆ク美ナリ次ヲウヅラダケト云松皮ノ鱗甲ノ如ク蓋上處々突起シテ周邊白ク缺刻アリ皮ニ斑アリテ鶉ノ羽ニ似タリ次ヲトラフト云白褐赤ノ横紋相雑ル次ハ尋常ノ品ナリ西賀茂ノ産ハ嵯峨ト同クシテ柔ナリ 松尾ノ産ハ色赤ヲ帯テ厚シ堅シ

○味苦キモノハ毒アリ不可食

○アセビノ木ノ下ニアル蕈ハ毒アリ

◐松ダケヲ日乾シ冬ニ至テ白水ニヒタシ煮食フベシ

○松ダケノ石ヅキ陰干末ソクイニ子リツケセムシサシタルニモモノヽ立タルニモヨシ

國藥須知 薬用ニ莖ヲ用ユ 主治瘀血血塊共冝シ 赤撲心痛瘀血在者何レモ破血ノ功アリ産後瘀血腹痛血暈上逆瘀血ノ者

○痘餘毒 松ダケ霜广油調敷 ○竹木刺 松ダケノリニ調敷 ○痢 松ダケ名ツキ甘草煎服 ○産後腹痛 松ダケ根陰干一匙ニ味噌汁中ワミ一盃セヒトニ煎ジカスヲ去二日三日用 ○諸腫物根抜 セツタケ石ヅキ一トハイノ頭サノリニテツク ○止血 松茸陰干末敷 ○痘眼或生星 松茸黄連水煎洗 ○金瘡痛 松茸曝乾末摻 ○衄血 ヽヽ霜 糊句貼左右随衄所出 ○便血 松茸煮汁送下 ○クサケノ内蓋 松茸升广剤芥甘草煎服 ○胞衣不下 松茸石ヅキ ○下血 松茸陰干 ○聤耳 松茸ツキ汁点

銭ニツト云アリ銭ノ大サニ

サモツト云テ早ク出スアリ是ハ小毒アリ

ルイマツト云アリ至テ下品ナリ

一種サニツタケ五六月生松タケニ似テ香味大ニ劣ル

一種ハヒツダケ松ダケニ似テ小松タケノ類ニ非ス下品ナリ

一種栂下ニ生スルモノ栂松タケト云香味粛減

黒松ニモ生スルアリ是ヲカラニツタケト云土州ニ産ス

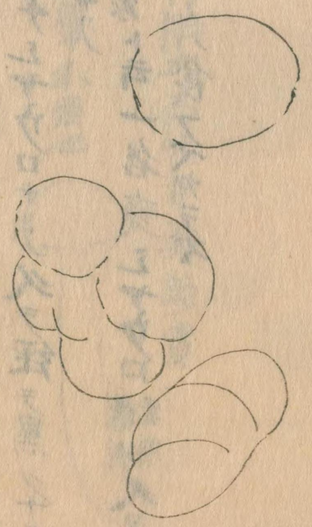
ヨールトヒユイレン

大和本草 山ニ生スル八毒アリ不可食新ラヨレトス山松露ト云モノアリコレハ松露ニ非ス松露ニ似テ大ナリ黄褐色ホコリタツモノナリ食ヘカラズ馬勃ニハアラズ

松露ハ松林中白沙ニ生ス冬春ノ間雨後ニ生ス毒ナレバ鴻喜(ママ)ニハ不可食ホレタルハ無害

○清洲(ママ)ニハ白キモノアリ

○駿州ニ穂ヨリ多出他国ヨリ上品名物トス麥蕈ニ亮説未詳トヲ麥蕈ハ又ノヒキナルベシト云中山傳信録ニ松露ト出ス純白ニノ柔軟ナルヲ餅松露ト名品トス黄黒或灰白ハ毒アリ



セウロ

ユウダチノヘリ 神岡ノ長谷ノ内

ヱールトビュイレン

麦蕈 四日麦蕈生溪邊沙壌中上有

松蕈 日

地胷 廣東新語

麦丹蕈 菌譜

松乳 清俗

琉球ニテモ松露トモ云 中山傳信録ニアリ 海辺松下ニ生ス 故ニハマニシヤウロトモ云 形円ニシテ馬勃ノ如ニシテ涎アリ 春末ヨリ夏ニ至リ盛ニ生ス 白色ニシテ柔軟ナルヲ上トス 米ニシヤウロト云 又子バリトモ云 即モチニシヤウロナリ 久ヲ経テ黒クナラズ粉トナリテ飛ブ 乾ス者ハ甚(其)肌甚密ナリ

一種外黒ク内黒(白)ナル者ヲ栗ニシヤウロ 伊豫ト云 一名麦ニシヤウロ 豫州 雲州 久ヲ経レバ色黒ク堅クナル 黒色ニ変シタルモノハ食フベカラズ

ミメヂ 濕地茸 俗ニ称大黒者柄肥大而味甘美謂賣

香松蕈味遜地柄細蓋大者次之

本シメジ 有毒不可食熟視之全不湿地蕈不類也

蕈類ニ有土氣者有毒不可食食中其毒者或大笑或煩悶吐下甚者至斃殺可恐類湿地蕈有毒者類品

シモシメヂ 霜後生山陰味不濕地蕈

セウロ 赤ヲ麦セウロ 白ヲ米セウロト云 石佛村邊ニアリ

国立国会図書館 タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21
ガラス使用

黄ミメジ
キダケ 播州

霜降

キニタケ 筑前
ニセモタケ 雲州

黄蕈 六白 黄蕈叢生山中
黄色トス

蓋小ニメ莖フトシ左捻ノ雲降テ生ス先莖ヲ出シフトクナリテ後蓋ヲ生ス常菌ニ異ナリ蕈黄色深ク莖ハ浅シ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　　ガラス使用

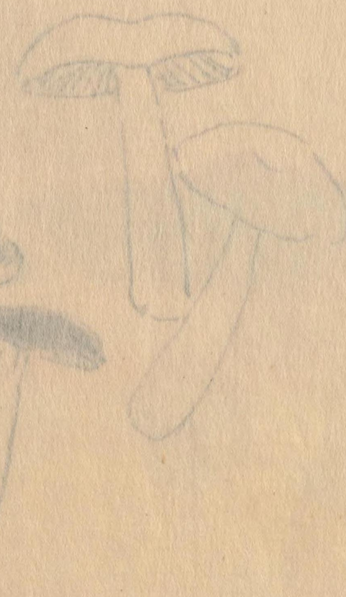
ヤブレメジ　竹蓐

夏月多生紫色者味苦性悞有竹葉氣

全又ハフガンタケ

白色者味稍減竹葉之氣苦甚

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用



天蕈

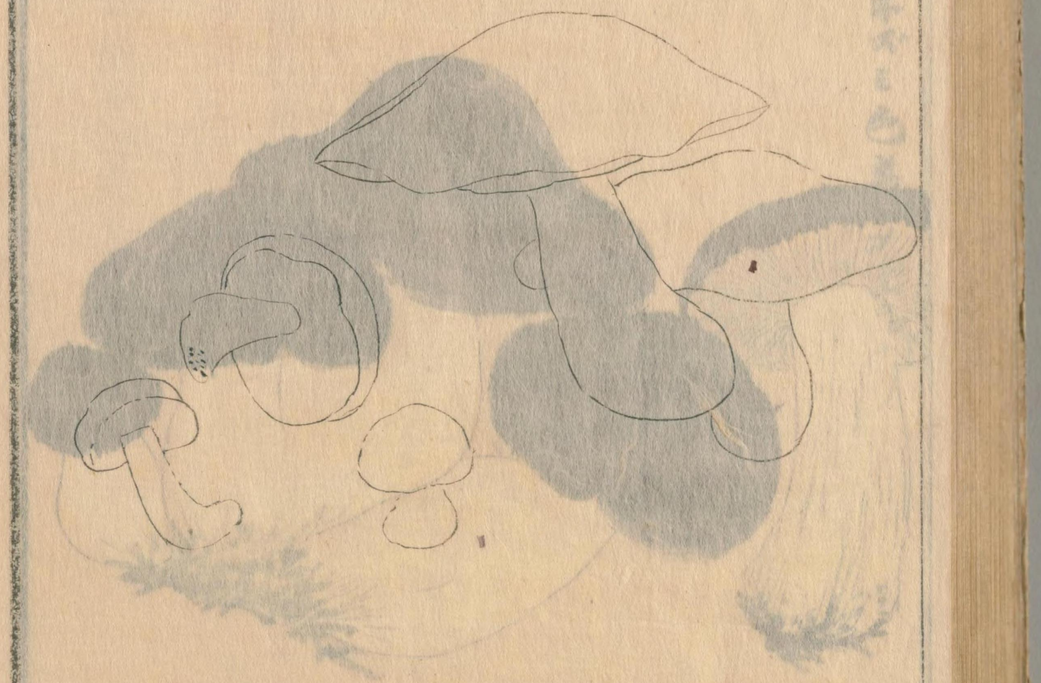
五日玉蕈 初寒時生潔哲可愛トス
一種雲ガエリトモアリ十月時分ニ生ズ韮蓋共ニ白色ナリ食用ニモ可ナリ
又ミメジノ水辺ニ生ズル者ヲ水ミメジトス

霜降

ミメゴ色美ニ上品ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

黄ミメジ



ムラサキミメジ

紫蕈
紫冨蕈 菌譜
備前山形ノ宮山ニ生ス
ミメジノ色深紫ナルモノ

七日紫蕈稍紫色産山中ト云

ハツタケ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

ハツタケ　アイダケ　備前　備中
アヰヅリ　江州　アヤヅリ　同上
青頭菌　香蕈俗　青紫　呉蕈譜
松樹下草中ニ生ス　黄赤色ニメ微紫ヲ帯ブ手ニ觸レバ藍色ニ變ズ　尾州ノ
産ハ蓋ニ青斑アリ
言アヲハチ　ナツシヽ　北国
○ニバハツ　ハツタケニ似テ非味劣ル下品ノ
○一種アヲハツニ似テ非ナルモノアリ　微無斑文毒有無ヲシラズ

クズタケ

クズタケ

葛花菜
葛葦 廣東新語

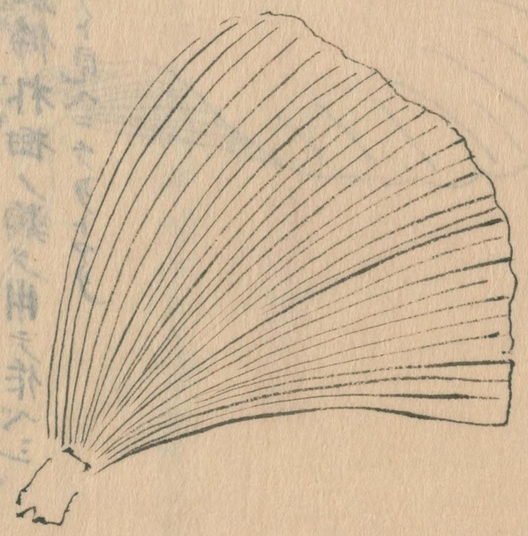
釋名 葛乳

葛ニヨリテ生ズル菌ナリ色赤シ
廣東新語ニ葛花菜ハ葛乳ヨリ高洲多種葛霜州人呼之為絲絨秋霜時有
葛乳涌出地上如芝如菌色赤味甘脆微苦其性涼乃葛之精華也ト云
別ニベニタケアリ 蓋ノ色赤ク背ト莖トハ白色ナリ 漢名 紅蕈 常熟縣志
朱蕈 八閩通志 同上

ベニタケニ二品アリ春生ズル者ハ毒ナシ 秋生ズル者ハ毒アリ 紅菌 同上
一名チニヤダケ ミテウダケ 和州 ヒガニタケ 同上
サヽナバ 豊前 サヽダケ 和州
秋生ズルモノハ毒アリ食ヘバ吐血シテ死スルモノ多シト云 アカダケ 丹州
一種九月ニ生ジ背淡黄色ナルモノヲ ミモコシト云 北国ニ多シ味脆美ニシテ毒ナシ
又表裏共ニ赤色ナルアリ是モ毒アリ秋生ズル一種又アラベニタケアリ色ニ微シ青ミアリ

四月比楊樹ニ生スルモノ

山西通志ニ云天花出五臺形如雞冠花味極美北方第一菜トス又集解ニモ天花菜出山西五臺山形如松花而大香氣如蕈白色食之甚美トス皆ヨク充レリ



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

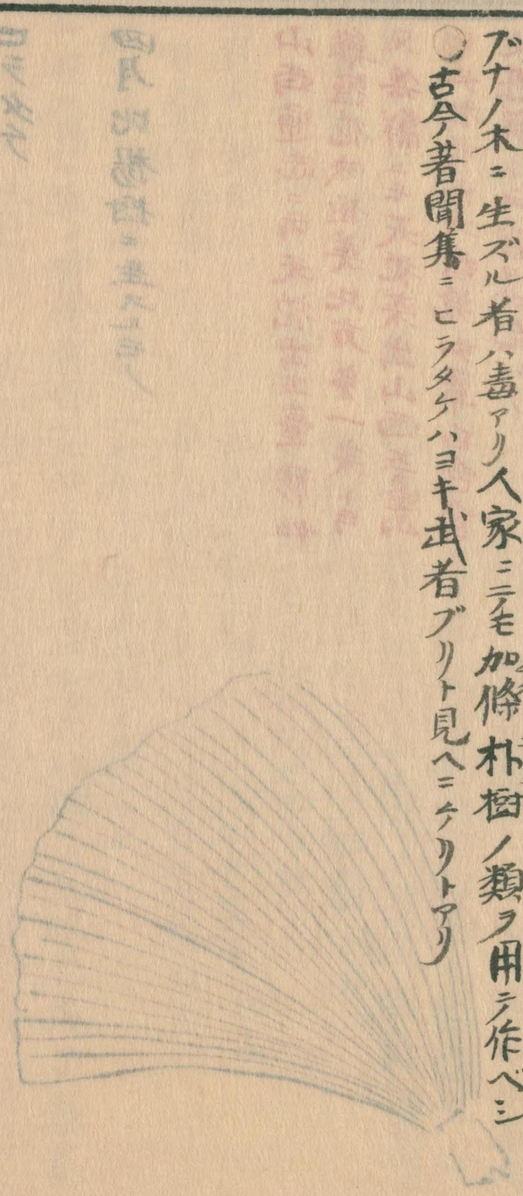
ヒラタケ

天花蓐

釋名 天花菜

冬春山中朽木ニ生ス紀州高野山蛛ニ多シ乾メ遠ニ寄ス初生小堆多ク聚リテ數枚ノ如ク色白シ漸ク長スレバ微ク傘狀アリ愈長ズレバ益ナク銀杏葉形ノ如ク雞冠花ニ類ス多ク重疊ノ白色微黒背ハ切レアリテ茎ト共ニ白色生乾共ニ煮食フニ堪ヘタリ然レ𪜈其木ヲ選ブベシ𪜈ナノ木ニ生ズル者ハ毒アリ人家ニテモ栽培(エンキ)樹ノ類ヲ用テ作ベシ

○古今ノ著聞集ニヒラタケハヨキ武者ブリト見ヘニケリトアリ

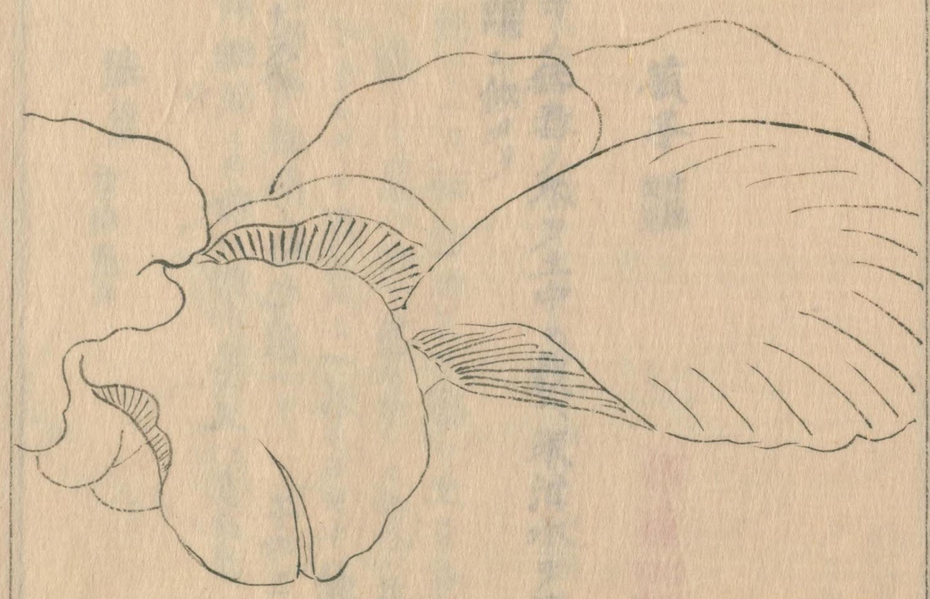


ヱノキタケ

ヒラタケノヱノキニ生ズルモノ

カサ白ニ淡黒ヲ帶ブ

茸莖トモニ白シ



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　ガラス使用

フデタケ

蘑蕈
摩菇 事物紺珠

釋名 肉蕈

ツクリダケナリ桑椹等ノ無毒ノ木ヲ土中ニ栽ヘ米泔水ヲ澆テ生ス亡ム其形
玉簪花ノ蕾ノ如ク筆頭ニ似タリ

蔬子 典籍便覽

集解 羊肚菜 詳ナラズ

朝苗 昭物方言 同名多シ

雞㙡

一名雞㙡 通雅　　雞蔆 雲南通志

釋名 雞菌

集解 ニ沙地ニ生スル高脚繖頭狀トモ者ハ詳ナラズ又ハリタケ　子ズミタケト訓スルモ非ナリ　ハリタケハ雲南通志ノ松毛菌ナリ　子ズミタケハ八岡通志ノ掃箒菰ニ雞㙡ハニイタケト訓スベシ一名クモタケノ秋初深山中ニアリ雞木ノ朽株ニ生ズル大菌ナリ莖ハ短ノ甚ダフトク白色蓋ハ銀杏葉ノ形ノ如クニテ多ク重疊シ洞サ一尺餘色微黑ヲ帶ブ生ニテ煮食ヘバ味佳ナリ塩藏ニテモ煮食ヘバ味佳ナリ又栗木ニ生ズル者ハ小ニメ黑色ヲ帶ブクリタケト呼ブ北国ニ多シ

キジブシ

面背トモニクリ色ナリ

ハリタケ

雞塚 一種タケノコニモタセ

ニヒタケ
微黒柄
潔白者
上品トス

味淡脆可愛

ムラサキニヒ
美濃ニテ
サルニヒトヨ

味淡下品

ツクシヒモ
多ツクシノ下ニ生
微ニ苦
味ヲ帯
下品

淡黄赤

一種微灰黒柄淡白者味減

ハリタケ

松毛菌　雲南通志

毒十三

ソナノオバ　高針村

不食茶ナリ

ネズミタケ
ネズタケ
掃帚蕈 八閩通志
小毒アリ

ネズアシ 但馬
ソナタケ

ネズミノテ 勢州千種

イクチ
スドヲシ
ジカウボウ 畠一
黄饅頭 呉蕈譜
カサ大サ七八寸ノモノアリ
一種ヤセドリイクチハ 背黄小キズアリ
不食

国立国会図書館 タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21 ガラス使用

舵菜
船ノカヂニ生スル菌ナリ舵柁同字

カヂタケ

土菌

一名 土蕈 本経逢原

𦦨生 芝 正字通

釋名 杜蕈 菌譜

地雞 爾雅

ゴモクダケ

橦頭蕈 通雅

朝菌 荘子

地蕈 拾遺

橦頭

馗廚 同上

蘧疏品字箋

菰子 食物

藏器曰地生者為菌木生者為檽江
東人呼為蕈爾雅ニ云中馗ハ菌也孫炎註ニ云地蕈子也或云地雞亦云橦頭郭璞
註ニ云地蕈似釘蓋江東名為土菌可啖凡菌従地中出者皆主瘡疥牛糞
上黒菌尤佳若燒灰地上經秋雨生菌重臺者名仙人帽大主血病時珍
曰中馗神名又槌名也此菌釘上若織其状如槌及中馗之帽故以名之
梅雨中糞壤上陰處ニ生スル キツ子ノカラカサ類ノ總名ナリ附録ニ品類ヲ
多ツ

夏至ノ頃雨後

国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21
ガラス使用

釋名　仙人帽ハキヌガサタケ

附録　鬼蓋ハキツチノカラカサ

地茸ハキツチノカラカサノ黄色ナルモノナリアサダケト呼ブ

鬼筆ハキツチノヨカキフデ

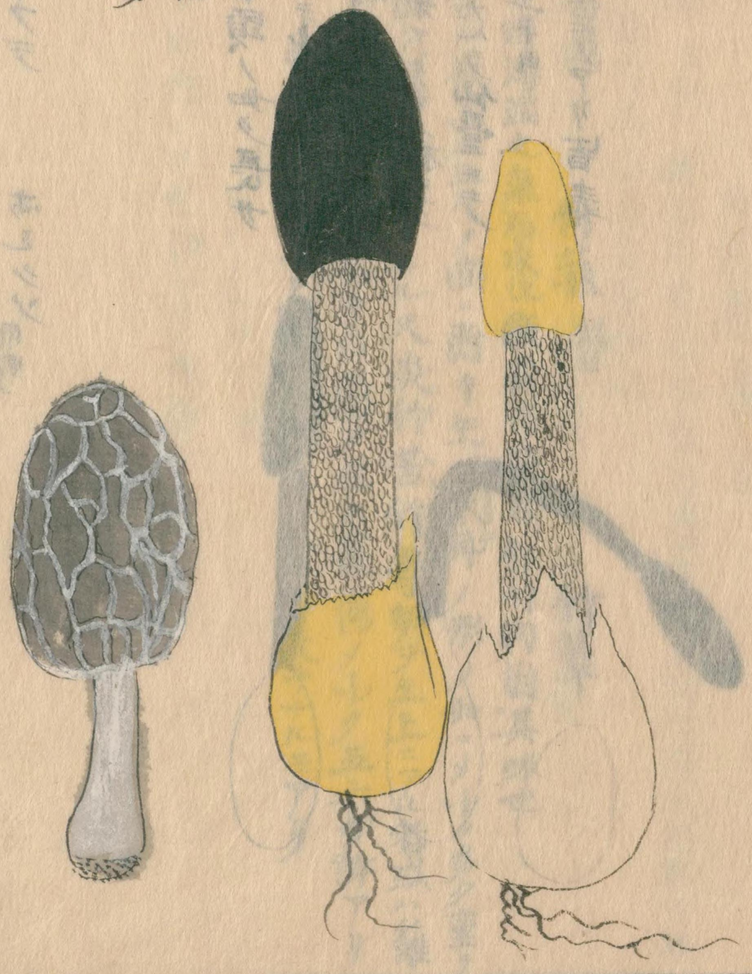
キツチノカラカサ　クチナハノカナ　阿州

鬼蓋　藁ノ上ニ生ジ形香蕈ノ如シメ小ク蓋薄ク黒褐色背ニ切レアリ葉ハ細ク内空ニ日照スルトキハ拈レ腐ル

キヌガサダケ　クチナハノタマゴ　筑後

ヘビノコ　江戸

仙人帽



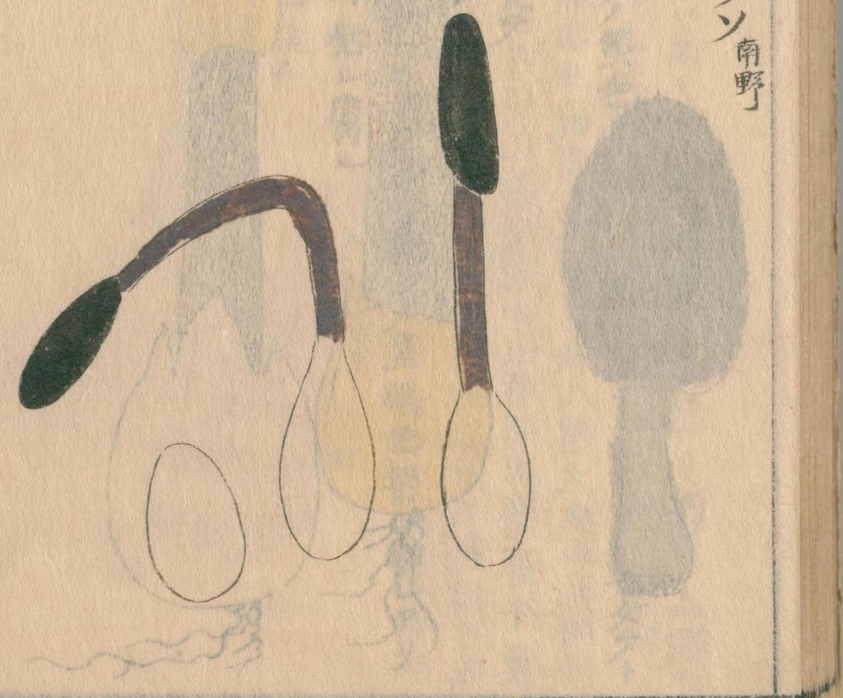
ユレハ路旁林側或ハ堤陰ニ生ズ莖ノ高サ四五寸蓋ノ周邊ヨリ白綱ノ下ル莖ノ色ニ根ニ至ル其根ノ堀レバ蒟蒻粘滑惡ムベシ

ツユボウ　城洲嵯峨

キツネノエカキフデ　ホヒクソ 南野

鬼筆

形狹長ニメ筆頭ノ如ク長サ三寸赤色頂ニ小黒蓋アリ夏月霖雨ノ時墻側及糞壤ニ生ス甚ダ臭氣アリソノ根至テ粘滑ナリ赤色ナルヲ仙臺ニテキツネノテウチニトモ又黄色白色ナルモノアリ皆毒物ナリ



スバメノタマゴ 新校正
ツバメノコ、統後
メケクラゲ

スバメノコ、統前
スバメノモチ 備前

スバメノイ、同
タケノクサビラ 和漢三才品彙

竹蓉

釋名 竹肉 拾遺

竹蓉 綱目

草更生日蓉得濕潤之氣而成也 陳藏器本草作竹肉因其味也

皮竹臺明竹等ノ根上二三尺ノ間ニ附キ生ス木耳ノ形ノ如ニメリク多ク重リ生ス黄色ナリ乾ケバ黄白色トナル又淡竹苦竹等ノ土上ニアル者或ハ籬ニ作ル者ニ雨後銀杏葉ノ形ノ如キ白菌ヲ生ス甚薄メリク五六分許アリコレヲサケナバトモ竹林中土上ニ生ズル者ハ二三寸ノ大サナルモアリ

竹蓉

オギタケ 信州　　ヨシタケ 筑後

蕈菌

釋名 蕈蘆 本經　時珍曰蕈當作蕈乃蘆葦之屬此菌生於其下故名也若蕈音觀乃烏名與蕈蘆無關

季秋好ヂ蘆荻叢中ニ生ス形小ニメ玉蕈ノ如ク灰白色食フベシ

白蕈蘆 東醫宝鑑

附録 蜀格　　バリタケ 同名アリ

傘ヲ張リ生ス白色ニメ毛刺アリ味苦シ　　ヨシノシタケ 河州

ニカダケ

ノロコ
ゴヤグイ 伊州

ノロハチ
ウシノカハダケ同

ゴヤクビ江州

地耳 ヒラタケトヲモノヽ地上ニヒラタケノ形ナル者多ク生ス是ナリ前ヨリクロコニ充ルハ非ナリ
地皮 河間府史
皮滑蹋 茹草編
釋名 地踏蕨 綱目
ノロコハ丘陵小樹下ニ多ク生ス莖至テ大ニ色黒メ褐色(モ)アリ背ハ白色ニメ蜂窠眼アリ莖粗クメ短ク地中ニ隠ル味苦シ未ニ浸ニ苦味ヲ去テ食フベシ

紗羅蕗 野菜博錄
地屈聯 說嵩
地踏菜 救荒野譜

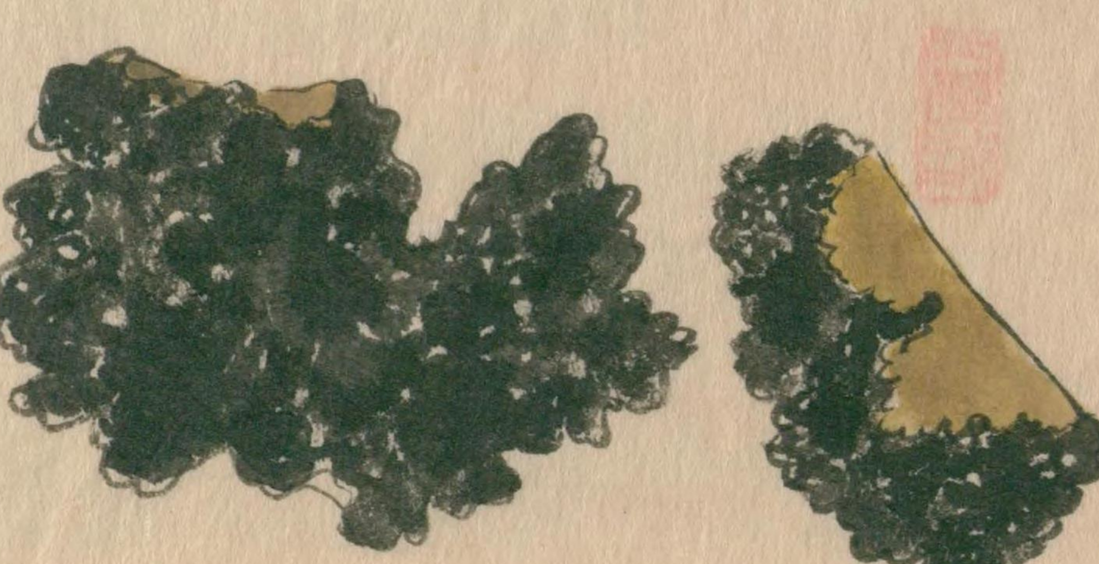
国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21　ガラス使用

イワタケ　石耳

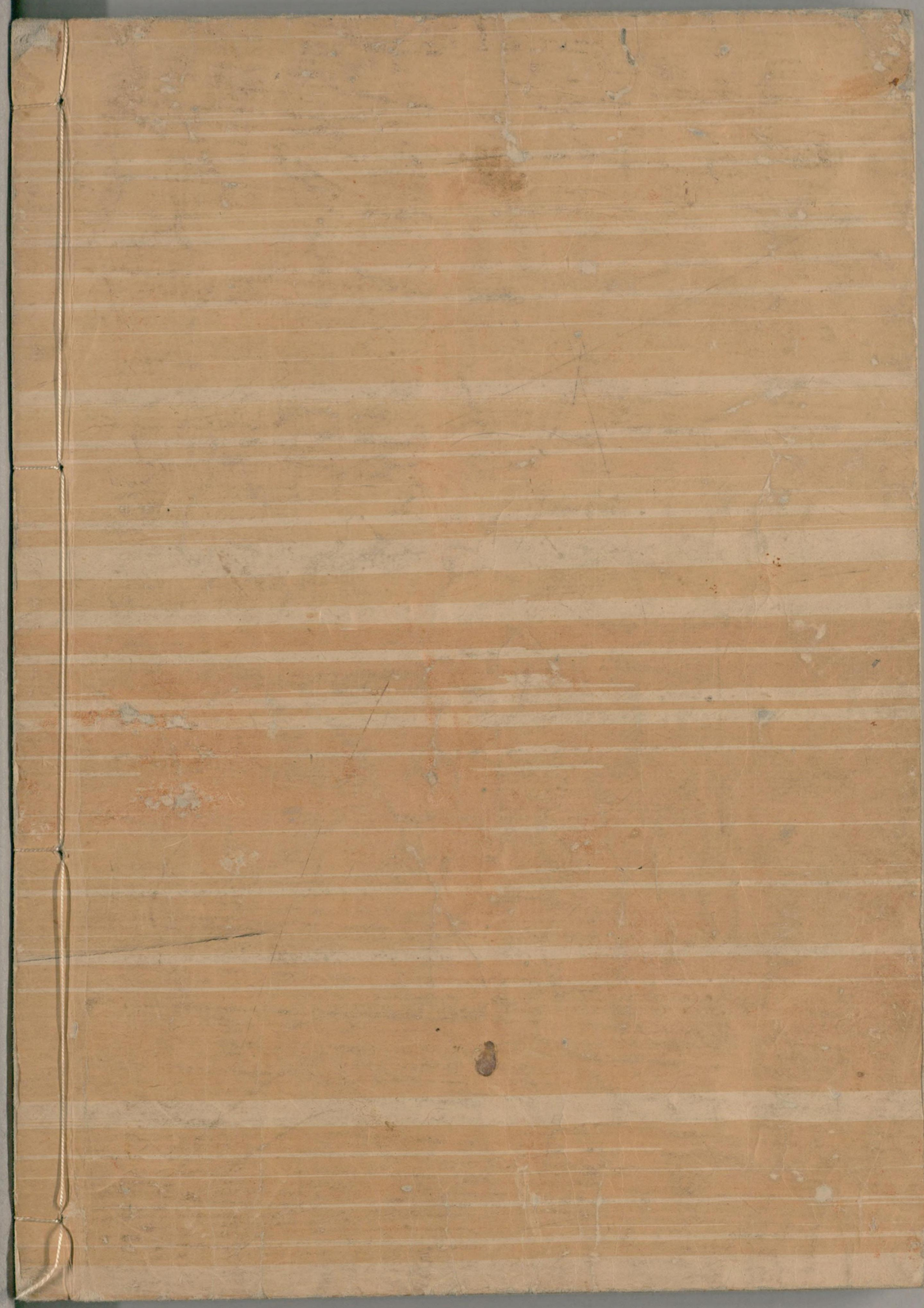
イハゴケ　石芝 西史

釋名 靈芝 靈苑方 芝及紫芝ニモ靈芝ノ名アリ
山中巖石上ニ生ス日當ル所ニ生ス形円ニシテ薄ク皮ノ
如シ大サ二三寸背ノ正中ニ短キ莖アリテ石ニ附ク
層ニ相連リ生ス石花(トサカノリ)ノ如シ採リ乾シテ賣ル水ニ
浸シ煮食ハ味淡脆面ハ黒色背ハ青白色ナリ

○唐山ノ名華耳清高齋来スベキ者アリ和産ニ異ナラズ
○陰囊腫大イワゴケ霜 栗毬霜 糊調シ傅ク○湯火傷イワゴケ霜茄茎霜香油調ヘ敷ル



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』　請求記号 W391-21　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本草綱目紀聞』 請求記号 W391-21

ガラス使用